京城日報

七月七日夕刊（朝夕併せて八頁）

スワノス演説激越
過激派戰死者葬儀光景

【チエツク軍北京筋來電】六月廿九日浦鹽騷擾の際要塞司令部に立籠もりチエツク軍に抵抗したる過激派軍戰死者七名の葬儀は既電の如く四日執行されたるが之れに參加すべく停車場に一萬餘名の群衆參集し尙チエツク兵營に拘留中なりし過激派兵營長スヲノフは自動車にて停車場に驅著け群衆に對し演說して曰く『チエツク軍は有產階級の手足となりて働きつゝあるものなれば該軍に對しては寬容たるべしされど有產階級に對しては遠慮なく戰爭を開始すべし』『南西伯利亞政府の葬兵には應ずべからず』との激越なる演說を爲し感動を與へたるがスヲノフ解放の眞相として傳へらるゝ處に據れば代表者より彼れを葬式に列せしむべくチエツク軍に願ひ出でたるにチエツク軍はスヲノフ殺害の誤報の傳はらんことを虞れ之れを許せるものにて葬儀終了後スヲノフは兵營に歸れり（東京特電）

過激派 獨要求承諾

【在ストツクホルム（瑞典首府）デーリー・クロニツクル通信員の報に曰く】露國過激派政府はチエツク、スラヴアツク軍の武裝を解除し之れを引渡す可しとの獨逸の要求を承諾せり（倫敦他電）

チ軍進擊敵敗却

【浦鹽發北京經由來電】七月五日チエツク軍司令官デートリツク將軍の公報左の如し（東京特電）
敵軍は退却を開始せり我軍は五日未明全線に進擊し敵はニコリスク方面に退却せり尙裝甲列車は獨逸製なるものゝ如し敵は橋梁及び倉庫を爆破し死傷損害多く其多數はマヤール人なり我軍はニコリスクに向け汽車に依りて進軍すべく目下鐵道修理に努力中なり

チ、過兩軍衝突

チエツク軍先發隊は三日朝よりニコリスクの南方十露里乃至十二露里の地點にて獨墺俘虜より成る過激派軍と衝突し浦鹽よりは同方面に派遣せり（浦鹽電報）

匈牙利罷業頑强
墺太利罷業者復舊す

【維納來電】墺太利にては昨今麵麭の分量を輕減せし爲め戰時工業を含み八千名の同盟罷業者を出したるが罷業者は新收穫期迄賃金を增加する契約の下に再び業務に從事せり尙匈牙利に於ける同盟罷業は政治的意味を帶べる爲め一層頑强にて十萬人の職工はチツサ伯の政策に抗議する爲め同盟罷業をなし內閣の總辭職と選擧改正の新提案を實行せんことを要求せり（アムステルダム電報）

支那議會開會期

政府側の報道に據れば議員選擧は着々進行しつゝあり四川、廣東、江西、雲南、貴州の參議院議員二十六名、衆議院議員八名を除きても優に法定數に達す可く八月一日議會を北京に召集し十日前後開會すべし（北京特電）

參謀會議
○重要事項

參謀本部にては六日午前十時より參謀會議開會各局課長出席上原參謀總長臨席の下に當面の重要事項に就き協議せり（東京特電）

兩次官密議

山田陸軍次官は六日午前十時半栃內海軍次官を訪問協商密議せり（東京特電）

北津電信不通

北京天津間電信全く不通となり電報は郵便にて送達し居れり（北京特電）

移入外米價格

政府の指定商をして朝鮮に移入せしむべき西貢米は二萬噸にして仁川、釜山に各一萬噸を移入するに決し其積取第一船は商船と交涉整ひ本月下旬釜山に到着の豫定なるが其賣値段は一袋八圓四十錢（大阪特電）

堂島立會停止

大阪堂島市場二百丁方操券買方は懊惱たる光景にて遂に立會を停止せるが結局當分は解合ふ外無からん（大阪特電）

委員總辭職

六日大阪堂島市場は大紛擾を惹起し遂に立會停止となりたることは前電の如くなるが仲買委員總辭職し延いて役員並赤總辭職の已むなきに至るべく目下宮崎監査役等仲買委員に對し留任勸告中なり右の結果當中解合ふの外無かるべく七日立會は未定にて賣方は贊成金筆觀合し百萬圓の資金を用意し居れる由なり（大阪特電）

名古屋 解合未決

名古屋米穀取引所解合未だ決せず當中限解合値段に就き更に紛擾を重ね居れり（名古屋電報）

農業倉庫と物價調節（下）
在京　一記者

◎或は又說を爲すものあり今日農家に於て其生產に努力し米穀初め各種農產物の產額を多量にし以て食料品に付自給自足の實を擧ぐること國家第一の要務なり、故に其目的を達せんが爲め之れが獎勵の方策として米穀其他農產品の價格は出來得る限り高價ならしめ置くこと極めて得策なるべしと、利を以て導き利を以て誘ふ是も亦一方策たる可しと雖も所謂上下交も利を爭ひ唯だ利にのみ汲々たらしむることは果して農家に對する正當の途なる可き乎、斯の如きこと除りに其度を過ぐれば遂には射倖投機に走せ堅實を捨て浮薄の利に傾き農家の思惑心を誘發せしめ之れを助長せしむること特之より原因せざるはなし、吾人は我農村の狀態は決して全部斯るのにあらざるのみならず、農家には利益以外高尚なる職分あることを自覺するもの決して尠からざることを信ぜんと欲す。

◎物資の豐饒と富有を以て世に誇れる鄰邦米國の近況は如何、米國が一タビ劍銃を執つて戰爭に參加してより以來、國民の氣風全く一變し愛國的敬虔の情を以て滿され獻身的犧牲的精神を以て祖國の爲めに貢獻するを以て唯一の名譽こし唯一の快樂として富家一身の勞苦を厭はず現に富豪上流の身を以て其少年少女と共に田畝に出で、耕作に從事し或は牧畜に從ひ或は兵備を以て勤勞に從事し外は出征者の爲め、內は國民の爲め食糧を初め物資に缺乏を來さゞる樣汲々として其產額の多きに努め更に消費に付ては非常なる節約を加へ贅澤奢侈を恥とするは勿論或は禁肉の日を定め或は禁暖の日を定めて石炭の消費を愼み出征士卒と艱苦を共にするの真誠を發揮する其高尚にして美はしき心情に至りては誰れか之れに對して敬畏の念を生ぜざるものあらん。人生は決して淨なる利のみにあらず更に他に大なる高尚なる觀念の存するものあり、此緊張したる精神此高尚なる觀念ありてこそ之が移して確固たる事業に向はしむ其偉大なる發達を遂ぐること決して偶然に非ず、吾人は米國の近情を見て實に胸中悄愴たる感に堪へざるものあり。

◎今回政府が外米管理の方法を講じたるも畢竟國民生活上の物資を充實せしめん爲め已むを得ざるに出でたる所たるは勿論尙ほ深く農家の將來をも察し又ち先年の如き米價の暴落を演ずるが如きことなき樣適度に調節の實を擧げんとするに外ならず、又農家に必要なる肥料に付いても最も意を此に致し之れが調節を怠らざるは皆農家の將來を慮りたるが爲め也、吾人は地方官及び農村の先覺者が此に鑑みる所あり官民一致して克く物價調節の目的を達せんことを切望せざる能はず。

本社定價　壹部參錢　壹ヶ月七拾五錢▲參ヶ月前金貳圓▲六ヶ月四圓▲壹ヶ年八圓▲郵稅
廣告料金　七號活字一行八十錢▲三號活字一行▲四號活字
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　編輯　營業　振替京城三〇〇〇番

國防と經費
大體二十箇年にて完成

今回元帥會議に於て決定したる新規國防計畫に依れば陸軍は三個師團の編成二十一個師團（四十二個聯隊）に增加せんとするにあつて現在師團の二十一個師團に比すれば約十個師團を增加する譯なるが目下に現在に於ても陸軍は二十五個師團を標準とし居れるものなれば此既定計畫に比すれば約六個師團の增加となる譯なり而して一個師團の增設費を約二千萬と假定せば十個師團の增設には約二億圓の經費を要すべし又增設後に至れば一個師團一箇年の經常費を二百五十萬と假定するも毎年二千五百萬圓の經常費を增加するに至るべし又海軍にありては八八艦隊完成は大正十二年度以後に於て一八八艦隊を完成する筈なれば八八艦隊二隊の建造には戰艦八隻巡洋戰艦八隻に一隻の建造費三千萬圓と假定するも二億四千萬圓巡洋戰艦八隻にも是亦二億四千萬圓其の他附屬各種艦艇の建造を要するを以て一隊の建造費には五億以上の經費を要し二隊の建造には十億餘圓の巨額の費用を要すべし以上の如き次第にして今日の財政狀態にては到底十箇年位の繼續事業としては遂行することを得ざる大規模の計畫なれば今後十五箇年若しくは二十箇年といふが如く頗る長期に涉る計畫なるべしと（東京）

◇事業と金融
新機關の必要

✓企業　家が一個の事業を起さむには勞働を要すと共に資本を要す而して勞働は資本の有る所に集まり來るを以て資本の集成が企業の劈頭の問題となり經濟問題中最も重要なる地位を占む、企業家は素より自ら率先して事業を目論見ることは稀にして、企業家自身も幾分の資金を醵出す可しと雖も現代の如く企業の經營が大規模となり企業の形態が株式組織を採るに及びては企業家自身の資金は其株式會社の全資本額に比すれば九牛の一毛に過ぎざる可し

◇株式　會社の創立せられんとするや先づ第一に起る問題は如何にして其株式を募集せんとするかにあり第二は其募集に應じたる株主が如何にして其株金を拂込む可きやの問題也株式會社の創立さるゝに方りて發起人が全株を引受くる場合あり此場合には第一の問題は直ちに解決す、又た株式の募集に應じたる株主は自己の貯蓄を以て其拂込に充つることあり此場合には未だ第二の問題は何等の面倒を起さず、然れども此等の場合は稀有の事例にして多くは大多數の株式が資本市場に於いて公募せられ之が募集に應じたる株主は他より資金の融通を仰ぎて其の拂込に充つ、是れ事業資金問題が極めて面倒なる問題となる所以也

◇我國　の現狀を觀るに世の目論見る放資家なるものは乏しく、又其事業の善惡を識別して放資家の指針たる可き力に乏しく、又た其事業の內容を鑑別するの能力なく株式の募集は極めて困難なる場合少なからず事業の善惡を識別するの機關無きを以て株式の募集は極めて困難なる場合あり株式の募集に應じて行くとも其の貯蓄を以て之れに充つるかまたは自己の信用若くは其他の手段に依りて他より資金の融通を受けて拂込に應ずるか又は發起人が特殊の銀行と契約を爲し會社の資金を取扱はしむる條件として株式に對し幾分の融通を爲さしめて株式の引受けを爲さしむるの外なく其の株式の引受けに躊躇せしめ株式の募集を困難ならしむるに至る、又た新株に對する融通の途に乏しきは放資家をして新株の引受に躊躇せしむる原因也

然れども此等の場合は決して一時的の現象にあらず株式會社の發起人若くは其株主が他の資金を以て其拂込に充つるときは新株の引受けに應ずる者少なく株式の募集は一層困難なる結果を來す、又た放資家をして株式の引受を躊躇せしむる結果として株式の額面を以て募集せられたる株式が額面以下に下落する事あり斯くの如くして株式會社の創立は困難なる問題となるのみならず其事業の經營は一層困難なる問題となるに至る

斯く　觀來れば吾が國に於て株式に融通し其拂込の便を得せしめ居れる會社の創立は條理の上に立てりとせず又其資金の收集は其事業の性質の上に依らずして他の方便に待つ、然して其株式の募集を企つるものあれば有望なる事業も其計畫をして水泡に歸せしむるのみか却つて拜み倒しの巧妙なる者が其事業の內容の如何に拘らず其目的を貫徹するに至る、之れに因て破綻會社の續出を促すの原因たるに至る、又た新株に對する融通の途に乏しきは放資家をして新株の引受に躊躇せしめ株式の募集を困難ならしむるに至る、然れども此等の問題は常時たると戰時たるとを問はず經濟政策の根本問題也、然れ共戰後の經濟戰に對する時は一層緊要なる事業の發達を促進するの必要を感ず、然るに今日の狀態を以てしては到底充分なる結果を收め得る能はざるを以て放資家の羅針盤たる機關の創設と株式に對する金融機關の發達は戰後經濟施設の最大急務也、而して此二者の機能を兼ぬるものは獨逸流の資金銀行の制度たる也

日本　興業銀行は大體に於て獨逸資金銀行の制度に做ひ居れども其實狀に鑑みるに新株の發行引受の如きは何等の活動を爲し居らず、素より行が新株の名義貸のみにて未だ實行引受の權限を與へられたる事は曾て之れありしも其後幾多の事情に依りて止められたり、今後の產業界の需要に應ずる能はざるは火を睹るよりも明かなれば事業資金融通機關の發達を計るは朝野共に忘るべからざるの問題たる可し

皮革有望
（支那）朝鮮產は需要の一割

京城奉天各方面に於ける皮革研究を爲し此程歸來したる某皮革業家の談に曰く我國の皮革需要の總額は約二千萬圓なるが此中支那產の皮革（牛皮を主として羊皮山羊皮小量）は七割を占め朝鮮產は一割內地產は二割なり昨年十月迄三箇年間に於ける我邦より露國に供給せし靴皮具は六千萬圓に達し此間支那產の牛皮輸入も多額に上りしが現今は平時情態に復せるを以て昨年七月頃に比すれば半減して價格も三割下落せり支那に於ける牛皮の集散市場は濟南、漢口、上海なるが我邦に於ける皮具製造所は東京、大阪を主とし和歌山、姬路之に次げり戰爭前に於ては獨逸商人の一手に支那皮革を買收して歐洲に送りたるが近來主として本邦商人の手に移れり我邦に於て製造せる皮具は內地の需要を充たし商は支那に逆輸入し多く軍隊用こなれるが昨年十一月より米國にも輸出を始めたるも五月米國は輸入禁止を實行せり歐米方面には運賃高の爲目下輸出行はれざるも最も有望なるを以て本邦商人は切りに支那皮革に手をつけ居れり

殖銀新株公募
好個の放資物申込多からん

朝鮮殖產銀行新株八萬株（舊株主の分を除く）の公募は來る十五日より內地朝鮮滿洲の主要地で一齊に之れを行ふ事となつた、果して其

▲成績が如何　であるかは今日素より豫斷を許さぬが予等の見る所を以てすれば應募申込數倍の盛況を呈するだらうと思ふ、設立委員の內には悲觀的の說をなす者もあるらしいが總督府の主腦者の如きも萬一を氣遣つて大に此點に思ひを費してゐるらしい、成程最近の株式界は必らずしも振はない、郵船商船鐘紡の如き優良株すら甚だ不良好、而して當の殖銀の株價も現に利廻りは株價の年一割四五分に達せりと云ふに拘らず其の買氣は比較的盛でない、然しコレは時局株に對し戰爭の前途とその後の業績變化を思惑せるより來れる者である、又近年事業熱の弊さへある位

▲株券の激增　に食傷してゐるのに然も新事業は續々起つてゐる、殖銀の發行に引續き金融も今後は緊縮一方だらうから從つて多數の有價證券の株式はどうあらうと云ふ懸念をする向もあるけれどコレは殖銀が普通營利會社であり普通の銀行である場合に用ゆる悲觀材料であらう元來殖產銀行は現在の朝鮮六農工銀行を統一合同し、更に資本金を增大して朝鮮產業の發達を助長すべき重要な機關であつて事業銀行でなく既に多年各農銀の蓄積した

▲確乎たる基礎　を有してゐる、而してその業務は不動產銀行と普通商業銀行を兼營し更に庶民銀行とも目すべき金融組合をもその系統に置くもので業務範圍の廣き恐らく外國の銀行中その右に出づるものはあるまい、加ふるに政府の保護は到れり盡せりの觀がある、乃ち政府は設立の日より向ふ五年間無營業期に於ける利益配當が民間持株の拂込資本額に對し年百分の七の割合に達しない時は利益配當の補給をなし更に政府の殖銀持株六千五百九十八株（全額拂込濟）に對しては

▲十五年間　缺金の配當を要せずその他利子の政府貸下金があり鮮銀よりは低利資金の供給がある、世上漢湖農銀平安農銀の固定貸を云爲し新銀行の基礎に累を及ぼすものゝ如く角の論を試むるものなきに非ずと雖もそれらに對しては政府は今後十年の間に十分整理をやり終るに足らないことは出來て何等問題にすることもないのみならず前述の如く鮮銀との連絡の外資金の點に於て東拓並に勸業銀行とも連繫し拂込資本金十倍の債券發行力を有つて堂々

▲朝鮮財界　に進出しやうとするものであつてその前途の多望である事は疑ふを要しない、由來殖產銀行は總督府の銀行なるかの如く政務總監鈴木度支部長官の諸氏が熱心を以て其の創立の事務を擔當し、又其經營上には朝鮮財界の中心勢力者並に朝鮮金融界の有力者を參加した人らしいとの說があり疑ふ可からぬ一般より迎へらるゝ事を信じて疑はぬ、何だ彼んだ云つても內地の資金は乏しく鮮滿の財界の擁せる資金は乏しくないのであるから恐らく申込多きにすぎその割當てに創立委員は困却する樣になりはせぬ乎（經濟記者）

沿海州 邦人漁業

露國沿海州の現在邦人漁業經營者は約二萬人にして露國人は約四萬三千人あり、尙ほ日露漁業協約改正に就ては目下交涉中なりと

正米下澁り
手持筋の思惑

仁川の期米は大阪安には伴はざるも最近大阪の暴落に壓迫されて下押しを續け先月下旬の高値に比し一圓五六十錢の安値なり漸く二十二圓臺に顏を出せるに過ぎざるも正米市場は氣配稍弱しとは云へ比較的の高値に比し落ち二三十錢に過ぎず甚だ下澁り居れりその原因は（一）品薄出廻り不足（二）持米筋が定期の下値に狼狽せず安値にては斷じて手放さず端境期前後の高値を見込み居れる事等なるべし唯一部にては外米の入鮮と共に正米の下向きを見るべしとの觀測行はれ居れるが果して如何あるべきか

手形回收高

朝鮮銀行の鮮內小額手形回收高は六日までの所二十四萬圓にして倚ほ市場流通三十三四萬圓あり因に京城地方に於ける小額券は最近鮮銀手形を減じ殆んど政府發行小額紙幣と變化せし觀あるが鮮銀小額券の未だ多額存在せるは地方なるべしとの事なり

商議聯合會々期

來る九月京城に於て全鮮商業會議所聯合會を開催すべき事は既記の如くなるが其の會期は三日間なるが右聯合會終了後の出席者一同は大連に於ける鮮滿商業會議所聯合會に參會すべき豫定なりと

鮮銀店長會議期

朝鮮銀行にては五月若くは六月に於て例年の如く店長會議を召集する豫定なりしも都合上本年は來る九月に延期する事となれり

府稅徵收近況

大正六年度京城府府稅徵收は目下決算中なるが不日完成すべく確定數字は不明なるも大體に於て頗る好況を示し大正七年度繰越金として豫算に計上せし一萬圓は約倍額の二萬圓に達すべき見込なり而かも學校組合戶別割に於ては之と反對に納稅成績思はしからず學年度繰越金三千圓計上の處多少の不足は免れざるべしと

東拓馬山農業績

東拓馬山出張所の事業成績を聞くに今回愈々土地調查局作業と同一程度の所有土地臺帳を完成したるが之に據れば所有全地七千五百餘町步中水田五千二百町步家屋敷地百六十町步畑千町步雜地三十九町步なるが殘部千百町步は今後の移民に充當すべく現在の小作人數は二萬六千八百人を算し之れを指導し且つ取締るべき農管人二十三名あり直接小作人の管理を爲しつゝあり而して小作契約も凡て宗租に改めたりと尙昌原郡石田に九百二十五圓の工費を投じたる堤防は既に完成したるが更に今秋までの竣成の豫定を以て河東郡に水利組合を設置すべく其の工費は六萬圓にして蒙利區域を三百三十八町に達せしむべく又金海郡に於ける七十餘町步に亘る堤防工事は工費八千圓にて目下着々進行中なり移住民の素質整理は昨年來細密の調查により着々進行し今や全部完結の域に達し居れるが其結果は二千四百二十六人六百二十四戶中不良移民として解除したるもの三十八戶權利義務を他に轉じたるもの十六戶改悛の見込あるため猶豫したるもの十戶將來解除見込のもの十戶なりと

木浦金融狀況

木浦地方は入梅後雨量乏しく雨待ちの處去月二十四日來の潤雨に挿秧普く行はれ一方棉花も成育徐々良好にして本年度の如き氣候順なる天候は甚だ稀に見る處にして一般に本秋の豐作を豫想せられつゝあり米價は期米の高落に連れ多少の往來を見たるが大勢益々强健にして月末一等米二十六圓卅錢を唱へ小頁白米は二十九圓卅錢に上り未曾有の高値を示せり植付無難の聲と共に奧地貯米は漸々出荷を始め品薄の市場を緩和したるも地相場高下爲移出不振なりしを以て捗々しき取引なく唯に當月迄は當地附近の小口取引ごの漁期に入り漁船の來航多きため此方面へ白米の荷捌きを見しのみにて斯界は不況を呈したり綿は植荷の關係上尙ほ多額の在荷あり當月の移出額は二千五十一俵此價格十三萬五千四百餘圓に上りたるが各棉商社は已に買付資金の必要なく遊資潤澤の折柄とて是等に對する融資金の需要を喚起するに至らず海苔は出盛期を過ぎ二番草に移り漸く端境期となり海苔業の如く旺ならざりしも當月の移出額は五萬二千餘圓を計上し此方面に多少資金の需要を見たり轉じて輸移入界を見るに麥酒清涼飲料及び季節向き雜貨等漸增せしも金融狀況は不賣行期とて荷捌惡く何分梅雨のため市場閑散に傾きたり之を要するに當月の金融は棉花資金の終熄に連れ頗る閑散となりたる折柄綿腹不足の爲め移出界は愈々不況に傾き一方梅雨期に入り連日の豪雨に物資の流轉を阻止され市況著しく閑散となり金融緩漫裡に越月せり然れども本秋に於ける棉花は現下の處豐作を豫想され殊に同地三棉業會社は時勢の推移に連れ有終の美果を收めて愈々合併する事となり他面三井物產、鈴木、朝鮮綿業等も近く此地方に綿工場を新設せんとし其他朝鮮棉業會社も近く工事に着手せんとする等事業界は漸く多事の徵候を表はしたれば市況は靜穩の裡にも幾分人氣を副へ來れり

客月大邱驛貨物

六月中大邱驛貨物取扱所に係る發着貨物噸數は發送局線一千五百七十噸同連帶三百三十三噸、到著局線五千九百六十六噸同上連帶四百四十八噸計六千四百十四噸發着合計八千三百十七噸にして之を前年同期に比し發送に於て七百七十一噸、到著に於て六百廿噸計一千三百九十一噸の增加を示せり發送の主なるものは大豆廿噸同連帶廿一噸葉煙草卅二噸連帶二噸、米七百二噸繩叺席五十九噸等にして到著は米五十八噸同連帶八十一噸、雜穀六噸麥粉三十五噸鮮魚五十二噸鹽干魚二百六十二噸連帶一噸、明太魚九十一噸鹽百三十六噸、布三十三噸連帶三十六噸、綿布三十二噸連帶一噸、綿絲十四噸連帶廿七噸、綿七十九噸連帶一噸、紙類三十一噸連帶十八噸、新百十五噸、陶器類九噸連帶三十五噸、金物類一千十八噸連帶四十八噸、豆粕四十四噸、石炭五百十一噸、木材一千四百四十三噸連帶廿二噸、石炭三百十三噸、石油百七十一噸連帶廿二噸石灰十八噸、セメント六十九噸等なり

岩崎男一行出發

京城に入京中なりし三菱社長岩崎小彌太男の一行は七日午前八時五十分南大門驛發列車にて歸東せり

送無佛居士東歸
今關天彭

君今去踏玄海波。回首韓山意若何。洞後軟沙青鶴臥。寺前垂柳白衣過。
閒臥韓山四五年。競看早見帶風煙。送君離別情無限。不管嚴翁與洞禪。

□北海道より（十七）
天民生

陵郭に到る、深水碧、涯、石壘依然として當年の姿を存し、低徊感慨に堪へなかつた、中に小吏あり五稜郭の史を說きて梁川決死の詩あり。悲痛讀むに忍びず

孤城吞淚陷　軍氣亂如絲
殘卒深夜語　櫓兵異往時
單身甘就戮　百歲愧荏期
我脚兵家事　何須當論爲

北海道は大體に於て遠く朝鮮に及ばない、自分の赴任以來、何か朝鮮より優れて居るものを見付けたいと思つて居たが、此の頃一つ發見した。それは富の力である。北海道には千萬以上の資產家が二人もあり、五十萬圓以上の者は指を屈するに暇がない。丸で朝鮮とは桁が違ふさ。

人事消息

▲中村精七郎氏（中村組主）中村良五郎氏（中村組）六日夜入京天眞樓へ
▲李完用伯　七日朝水原へ
▲閔泳徽子　同平壤へ
▲趙鎭泰氏　同細里へ
▲趙重應子　同開城へ
▲齋藤精一郎氏（滿鐵組重役）七日夜入京天眞樓へ投宿の筈
▲高野三井支店長　七日朝釜山に向ひ八日朝歸京の豫定

茶前酒後

◎西部戰線の獨軍又攻擊を開始すと聯軍は年內專ら守勢の方針に據
◎終生突進し來る剛力直に突返さんとするは愚案か捻り拔に不如
◎戰初猛進の露軍忽ち各所に潰え之れ露軍獨に非ず獨探多かりし爲
◎墺軍各所に破るは伊探の多きに因る勝敗は頗る履や秀秋の多きに因か
◎伊軍が盛に間諜使嫉は露軍の仇討也獨帝之を聞かば苦笑一番せん
◎西伯利の現況は眞の千變萬化興行元は獨逸東面、北面白さ
◎寫眞が面白くて見物が出場は不可知、し火事でも起らば飛込も可
◎段總理視察中の限陸軍經理局長等を之居に招待して大に歡待につ努
◎其費用六時間三千圓俳優揃一時間七百圓餘り安價ならぬ要媚
◎新潟の富豪鍵富三郎曾て朝鮮虎狩を思立しも山本氏に先鞭さる
◎折角の計畫も畵餠に歸し更に北擧を計り阿弗利加に獅子狩を思立つ
◎平和克復次第直に決行とは壯圖なるも南洋大學探險に若ざる也
◎大根種三萬二千四百貫紐育に輸出さる運賃一噸五百圓合計六萬圓
◎米人如何に多しと雖も此丈の大根を喰ひ盡し得や否聊か大袈裟也
◎但大袈裟に於ては米人は獨步逑々水菓子を本國から輸入賞美する者多し
◎輕燒の風呂敷の他珍重されぬ
◎鯉も米國に行けば金魚以上に珍重
◎赤腹も好く調節すこ硝子器中に愛翫さるゝは人情の相違か
◎東京に蔓延りたる窒扶斯患者在京城にも此種の者を探
◎時下傳染病期に入らんとするの時當局は取締を嚴重にせよ敢て至囑

列車時間表

[illegible]

大正七年七月一日改正現行

妾腹の子の大詐欺(二)

大芝居を打つて六萬餘圓を詐取

◇果は自殺騒ぎや附帶の大訴訟が持上る

百萬長者閔泳達の悴閔明植

金三萬圓の借受け豫約は成立したるも尚末森より直ちに現金の交付なきに依り前に僞造したる父泳達所有の土地家屋を更に抵當に供する旨申向け大正六年一月初め遂に末森より金三萬圓を用立つる事となり貫鐵洞居住崔山甕郎呉萌を介して旭町の內地人某代書業者の入智慧にて借用證書の僞造をなし次いで抵當權設定登記申請書、委任狀等を

▽悉く僞造し 夫れにはこれまた僞造の父閔泳達なる印章を押し一月十日右の申請書委任狀借用證書の三通を京城地方法院の登記係に提出して相當の手續を踏みて裁判所を瞞り以て一件に關する登記濟證の下附を受け末森と同道にて永樂町の山邊公證役場に行き同役場第千九百六十五號を以て虛僞の公證登記を終へて其の後數回に末森より合計

▽二萬五千圓 を領收せしも殘り五千圓は末森が抵當の土地に對し精密なる實地調査をなして後に交付すべしと拒絕したる爲め實際には二萬五千圓の現金を詐取したる次第なり然るに閔明植は右の金借にて末森が殘金を容易に交付せざるのみならず其の返濟期間が餘りに短期なる爲め更に他より一層多額の金を騙取して

▽末森の大穴 を埋めんと夢を食はば皿迄の譬へ這回は弟閔台植が京城府に移住したる旨虛僞の申告をなしたる上其の印章及び僞造文書を以て他より借金せんと此の內情を前記李明均及び豫てより關係ある嘶雲洞居住の呉禎善(四五)の兩名に打ち明けて手段を諮りたる所兩名も之に加擔し呉禎善は二人の手を介して伯爵

▽李完用氏の 長男にて玉仁洞居住の李恒九氏を煙に捲込み前回末森に提供したる閔台植名義の土地全部を抵當として金四萬圓を閔台植が借用したき旨を申込みたる際李恒九氏は雇人某をして實地を調査せしめたる結果實際に閔台植が借入るゝものと誤信して金三萬五千圓を用立つる旨を承諾し其の地所に對しては

▽一番抵當權 を設定し貸附金中より末森に對する債務を辨濟せしめて直ちに一番抵當權を抹消することを約し其の上に於て貸附けに關する一切の行爲手續き

▽返濟期日は 同年十一月三十一日と認めたる借用證書を末森家の白井支配人に李恒九氏より命じたるに依つて白井は呉禎善等に面會し大正六年二月五日附借主閔台植貸主李恒九として金額三萬五千圓に利子は月一分五厘と定め初め外數通の證書を閔明植等三名の手にて僞造完成し又も關係官廳に書類を提出して行使し其の登記簿を受けたり然るに白井は現金を交附する前に念の爲め一應閔台植本人に會見したき旨を申込みたるに此の間際に眞個の閔台植に逢はれては一大事と明植、禎善、明均の三名は有らん限りの

▽智慧を絞り たる末李善が李明均を同伴して白井に面會し李明均は自ら閔台植本人なりと巧に化けの皮を被り居るも明均は元來咸鏡南道生れとて多く訛る時は忽ち化けの皮が現はれ相なるより

▽貸借一切の 事は兄閔明植に任せ且つ印章も渡しあるより程良く計らひ呉れと上首尾にて早々退去し越えて二月七日三名は白井と共に末森方に行き白井の手より金二萬五千圓を直接末森に交付せしめて末森より貸金分の穴を塞ぎ殘額一萬圓は其の後受け取りて都合

▽三萬五千圓 の騙取を遂げたり然るに前記一迄居積りたる一役者の呉禎善は此の借款問題に就ては先方の金主より三割の手數料を請求せられたりと瞞し需要求に應じ置かば後日も信用を厚ふするにより手數料として六千五百圓を李恒九に支拂ふべしとて欺きて閔明植より件の現金を詐取せり

◇コ殿下奈良御成 コンノート殿下は六日奈良に成らせられ同地へ御一泊ありたり(大阪特電)

◎伊國へ派遣 飛行將校決定

伊太利に派遣せらるべき飛行將校は松尾中尉以下二十二名に決定せりと(東京電報)

◎伊勢に飛行場 水陸六十萬坪

伊勢四日市附近に海軍飛行場設置の計畫あり右は水陸六十萬坪の由なり(大阪特電)

◎安永高工長

大阪高等工業學校長工學博士安永義章氏は胃癌の爲め福岡大學病院に入院療養中なりしが六日遂に逝去せり(大阪特電)

猛虎を生擒

全南谷城郡竹谷面元達里丁東汝は此の頃附近に大虎出沒するにより自家の豚小屋に艮を係け置きたるに三日夜大虎係れるを發見し谷城警察署に急報したれば署員は現場に急行し件の虎を銃殺せしが身長七尺重量三十貫の逸物なりと

◎一戸から七人 朱安の窒扶斯

富川郡多朱面士忠里に一戸から七名の腸窒扶斯患者を出した患者は朱安の塩田工事に從事する鮮人で朱安の東北方に在る士忠里の鮮人宿に發生したものである即ち患者の氏名を揭ぐると廿九日發生寺光先(二三)朴稀朝(二五)曾致三(二九)張仁生(二〇)七月二日發病任國平(二〇)吳昌泳(四五)李完永(三〇)の七名である仁川警察署よりは特に巡査部長一名出張之が撲滅を期すべく最も嚴重なる消毒を施し患者は全部幸ひ附近にある一軒の空家に隔離治療せしめたり(仁川)

◎パラチブスと不徳な醫師が醫師會の問題になる

◇傳染病室を持つた醫者は成金になつた

患家と共謀して代へ玉を消毒した醫者がある

一時流行の兆候を呈した京城のパラチブスも昨今漸く下火となつて新患者の發生が餘程少くなつた、併し總督府醫院順化院を初め市中の開業醫院で

◆病室の設備 ある病院は現に入院患者を以て大盛況である、元來パラチブスは近年傳染病の中に加へられた病氣で死亡率は極めて尠く手當てさへ遲れなかつたならば悉く全快すると云ふ位のものである、然し病氣が輕いと言つても傳染病である以上官憲では法定の

◆防疫手段は 總監に出來ない、夫れで警察官憲では先づ檢病的戸口調査を初め各醫師と協力して注意患者の發見に努むるやら各町洞や學校と聯絡しておさく怠りない活動を執りた其の結果漸く終熄狀態に近づいて來たのだが未だ各病院の病室には入院患者がギッシリ詰まつてゐる、是等の患者は何れ早晩全快退院するであらうと抑競道回の傳染病で

◆甘い收入 あつたのは病室の設備があつた開業醫で、總督府醫院と順化院とは疾うの昔に傳染病室が塞がつた爲其お殘りは當然開業醫の方にお鉢が廻つた譯である、元來京城には內地人の開業醫が居住人口の割合から聊か多過ぎると云ふ議りが豫て傳へられてゐた、夫れに總督府醫院と順化院といふ官公設の

◆大病院を向 ふに廻して營業して行くのは開業醫の一でも中々容易ならず加之に醫科機械や藥品類の暴騰が酷く應へ或る開業醫の如きは患者は無くて借金ばかり嵩ね門前雀羅さいふ慘めな境遇となり屋賃も支拂へず夫れが裁判沙汰に迄になつて居るのもある、或は鑛山などに手を出してゐる醫師さへある、しかし表構へだけは張つてゐないと全く患者の足が絕えて終ふ恐れがあるから火の車でも體面だけはドウにか保つてゐるが內心は頗る苦しい向きもある、斯樣な次第で平素から

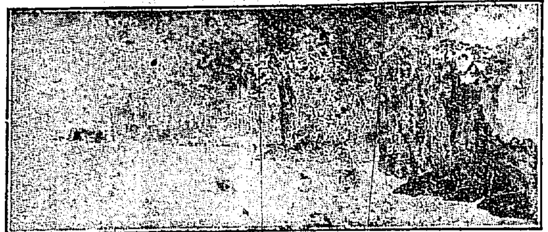
◆患者の爭奪 戰が暗に行はれてゐた、夫れも中流以上

◆大儲けの出 來た譯ではない、舊病室のあつた病院は患者の要求に依つて收容した迄であるから警察官憲でも成るべく防疫に聯絡を保つてゐるやうな樣子である、然るに或醫師の如きは官憲の目を偸み法定の屆出でを怠るのみならず患家から

◆依頼されて 現在傳染病でありながら之れを隱蔽してやつたり患家が營業上に打擊を蒙るからと言つて患家と共謀して其患者には關係の無い別の家を官憲に屆出して代へ玉の家を消毒するやうに取計つてやつた醫師さへあるが一部之れは現在法律上及び

◆京城醫師會 の問題となつてゐる、是等は餘りに營利に汲進したからであらう、又或る病院の如きは病室が不足の爲め傳染病患者と普通患者を同室に混宿させるは未だしも看護婦室から小使室迄患者室に宛てゐる向きもあつた、是等は一面から見れば已むを得ざる事情も伏在してゐるやうだ

◆醫師の不德 から京城の開業醫界の不評を來す懸念があるので六日午後八時から銀行集會所で京城內地人醫師會の臨時總會が開かれ古城會長以下數十名出席して種々協議する所があり警務當局の方針を遵奉することに申合はせた本町署からは小牟田署長が臨席して相談に預かつてゐる



◇叢石亭奇勝 雪哉畫伯筆

◎鈴木雪哉畫伯作品展覽會

會期八日午後八時迄—京城倶樂部にて

六日より京城倶樂部に於て開催中の鈴木雪哉畫伯の作品展覽會は氏が金剛山跋勝にて得たる畫材を繪本に描きしもの二十九點と內地にて製作せしもの十餘點を陳列せり

◆青綠 水墨凡て雄健なる筆致を以て描かれ金剛山の諸作中寒霞溪、新萬物相雨景、明鏡臺摩訶衍の雪景、玉流洞、表訓寺秋色等の佳作

◆横額 の奥萬物相、隱仙臺より十二瀑を望むの二作は共に構圖に無理なく雄大の氣を現はせり海金剛諸作の間に痛寺訪立の大作あり場中第一の

◆苦心 の作品にして色彩筆致共に申分なき優品なり其他舊作の水墨山水、雪後山水、孤亭賞水等破墨に構圖に面白き作を示せり尙七日閉會の筈なりしも有志の勸告に依り

◆八日 午後八時迄延期一般同好者の清覽を歡迎すと

婦人と小供

今後の家庭は 兒童本位にしたいもの

□內地に於て教育家は勿論の事、一般父兄等が兒童教育に目覺めたと云ふ事は何より嬉しい事であります、從來の家庭は大人を中心としての家庭でありましたが今後はこれも一大變革を來す樣に思はれます

□朝鮮に於いても私がこの間南鮮各地を廻つて見聞した處によりましても漸くこの兒童教育が一般の親たる人達の間に目覺めて來た事を知る事が出來ましたが、まだまだこれで十分とは云ふ事は出來ません、

□斯申しますとすべてが實際は机上の論通りに行くものではないと申されるか知りませんが事實は當然戰後の日本に於て現はされるであらうと思つてゐます

□學校の教師が兒童に向つて朝起きた時、夜寢る時、きつとお父さんお母さんにお早うございます、お眠みなさいませと御挨拶をせなくてはなりませんと教へるところがある大工の子は早速これを實行しましたためにお父さんから、面倒臭いつて頰面を張り廻されたと云ふお話もあります、これではいくら教育法が發達されてそれを教育家達が實行するに努力したとて何の効能もありますまい

□近く九州の疑獄事件でもある重要な位地に居た人の收監についてその夫人の孔雀夫人とかいふことに世間では大變に騷ぎ立て、ゐましたが私はまだその收監された支那漢の雀夫人と云ふ虛榮の女を慈母に持つた少年が問題にされてゐる事を聞きません、收監の父虛榮の母持、それも無論問題でせうけれ共、斯うして腐敗しきつた家庭に育つ少年の前途に思ひ到れば、もつともつとそこに重大な問題があるのではありますまいか、私はこの可憐な今は何事も知らない少年のその前途を思ふ時戰慄せずには居られません

◇聲樂家と妓生

聲樂家青木兒氏は六日午後漢城券番を訪うて妓生の唄を聽いた、若い綺麗な所が五六人ゆるやかな太鼓の音に合せて美しい咽喉を聽かせる、青木氏は大喜び今迄探し求めてゐた或物を探し當てたやうな滿足に微笑みながら『實に好いヒユーアで情味がある』と頻りに感心してゐた唄が濟むと七夕のやうに美しく著飾つた妓生が二人踊つて見せたが青木氏はこれで又候感心し殊に最後の僧舞は非常に氣に入つたやうだつた…寫眞は妓生の唄を聽いてゐる青木氏

◎電車の立往生

京城電氣株式會社の各電車は七日午前七時四十分頃より停電の爲め約二十分間全線に亘りて立往生せり原因は龍山發電所の故障なりと

◎鳳元氣 七日目の稽古場

◇大入滿員 千秋樂の日七日目は滿入日たる上日曜も手傳うて朝より入場者雜踏しかりしも早朝より入場者押寄せ午前十一時頃には既に七分の入りを見せ稽古場は例の如く元氣漢の十六大關が榮ケ浦大戶平等猛烈に申合ひ揉の川は鳳と申合ひたるが勢が立たず見物は何れも鳳の元氣に驚きたり午後は關論見物其他にて大入滿員の盛况を呈したり

毎週ポンチ —人ちがひ—

或る處に二人兄妹が有りました兄さんは作家のあけて著で到る所で失敗み演じます

(一)今日は日曜だからと言ふので二人は散歩と出かけました

(二)大分歩き疲れたので妹はもう家に歸りましようと言ふと兄さんは、床屋に寄つて行くからおまへは先きに歸つてお居でなさい、椅子にこしがけてはさみの音をきゝつゝいゝ氣持ちに居眠りを始めた、遂ひには鼾から大きな居眠り

(三)初めての床屋に行たので親方は手を出さぬ、でつち小僧がしきりとはさみを動かし顏をそり とう〱ひげ迄も全部そり落してしまつた

(四)そんな事は一切知らないからあはて先生鏡も見ず眼鏡も置き忘れそのまゝ平氣で家に歸り只今と言て奧に這らうとすると 妹曰く 『あなたどちらの方ですか』

◎運轉手免狀受取の途中 小兒を轢く

京城南大門通一丁目崔成自動車部運轉手見習崔應珍は昨春の警務部に出頭し運轉手免許狀を受けんとし七月二日午後三時頃三號自動車を操縱して光化門通りを進行中折柄通り蒐りし東洞崔汪淵の長男崔學旭(十)に自動車を避けんとして躓れ右手首を骨折され腕に手當を加へしが全治一個月を要する見込みにて鍾路署にて取調べ中

◇山形の豪農 天保米 …を賣出す

七十年前子孫のために倉に祕藏したのを列米道で

七十年前天保時代の籾米と粟が東京深川佐賀町二米穀問屋商店に方へ見本として屆いた荷主は山形縣最上郡金山村の

◆豪農 庄三郎兵衛で外米位の値段なら賣つてもよいと言添へて來た米も粟も籾殼を除くと茶褐色を呈し蛋白質は相當に含まれてゐるが脂肪は殆ど無くこれだけでは飯にならぬが混用すれば食られよう岸家の倉庫にはこんな米が

◆千俵 粟が五百俵貯藏されてゐる倉庫の周圍は杉の大木で圍まれ自然冷藏庫のやうな作用をしたものらしい天保の大饑饉後岸家の先代が萬一の用意に貯藏したものだと(東京)

灯ともし頃

▲半井大雅畫伯が金剛山へ寫生に出掛けた時の話金剛門の手前の所で或一軒の荒家で一夜の雨露を凌がんものをと這入つて見ると四面壁の煤い古ほけた温突だ▲然も床が温つて居るので乾かす爲に火を焚くと異臭鼻を衝くと云ふ有樣それでも畫伯の事だ一杯啀し了すと屋根から洩れて來る星影を眺めて之がホントの風流とばかり醉餘の一絕に曰く『今夜山中宿。孤燈萬壑深。泉響如雨聲。眞個洗塵心。』とやつた迄はよかつたが夜半に至つてホントの雨が降り出して家の樣な屋根を漏つて來て避け場所も無い洗はれたは唯に塵心のみではなく全身ずぶ濡れの體たらく▲前の詩の文句も『雨聲如泉響』と訂正した方がよかつた位それでも道が仇は畫伯の事で徹宵詩を吟んで曉を待つたさうだ▲其記念だと云つて今度の京城ホテルの同畫伯の畫會に其時の光景を描いたものがある

職權濫用 敦賀市廳問題

釜山の財務主任 釜山府財務主任 米村淺作氏は今回

課題懸賞募集規定

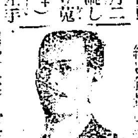
□募集規定 ▲用紙は當

晴一時曇

五時十九分 七時五十七分

▲廣告▼

手紙文庫



◎こんな手紙でも即座に出來る

◇空前の大著

自在應用

東京市 手紙文庫刊行會

商業登記公告

職業

牛澤出張所

陸軍拂下

佐藤古着店

新式 魔法瓶

△圓筒形 三合入金一圓九十錢 四合入金二圓三十錢 五合入金三圓

△水筒形 三合入金貳圓三十錢 四合入金貳圓六十錢

△送料 鮮內二十錢 鮮外四十五錢

京城太平通 京城日報代理部 電話六〇〇九番 振替京城三〇〇番

內科 呼吸器病 腸胃病 小兒科 婦人病

京城若草町大通り 今村醫院 電話一八三三番

活動寫眞器械 公衆用 家庭用 少年用 各種

幻燈器械 公衆用 家庭用 少年用 各種

大阪市西區新町通一丁目 高木商店

山岸勘吉創製

如何なる頭痛も五分間にて止む最新頭痛止藥

ネルビン

山岸十全堂

路加式 噴霧器

消毒用 消火器 其他各種

大阪西區長堀北通 路加商會

京城永樂町二丁目 酒井婦人病院 院長 酒井一郎

銘酒 金釜 銀釜 菊正宗 楠正宗

特約店 三巴京城支店

第六拾九回勸業債券賣出

鐵引 割增金 貳千圓十六本

即賣 壹通 拾圓

月賦賣

其他

神戶市相生町四丁目百貳拾五番屋敷

報國公債株式會社

振替口座大阪二三〇二番

電話 本社

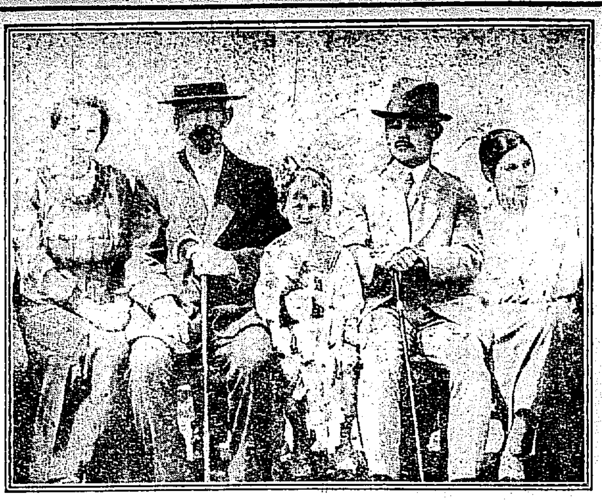
●東本願寺（南山町）七日午後八時半より日曜講話には勝見開教師の「殺さる」及び波柔谷開教師の「眞價」と題して講話あり

●奉天興信支所　奉天興信所を經營せる武内正支氏は曩に長春に支所を開設せしを始めとして安東に…任すべしと

●連絡船乘客　六日前入港高麗丸にて一二等客…[illegible]…一等（…名）…二等（五十九名）…外人四名、三等（二百十九名）

●邦人の手に歸したる　滿洲にて最大の哈爾賓大鐵工廠

歴史は繰返すスラブの舊版圖―西伯利の將來如何　曰く各國競走の經濟王國―兩國の經濟的大爭覇戰



哈爾賓鐵工廠授受記念撮影（右は工廠を買入れたる勝見宗氏（左）前持主ジユラウレフ氏（左）中の婦人はジユラレフ氏夫人及び令孃）

改造後の露國が歐洲に於ても著しく從來の版圖を縮少し恐らく千七百二十五年代に於ける同國の版圖と略同一のものとなるべしとは一般識者の認むる處なり況や東方亞細亞に於ける露國の勢力は戰前と全く異なるものあるべし殊に大なる西伯利亞は西より獨逸人及び新たに解放せられたる猶太人の勢力東より米人の勢力侵入し所謂するに至るべし即ち西伯利亞の將來は各國相競ひて經濟王國の樹立に努力し且つ此の經濟王國が割據し攻伐起倒の時代に入るべきなり此の際に於て我が日本人たるもの世間幾多の俗論に惑はさるゝ事なく斷々乎として起ちて此の國際的競爭裡に勝を制するの覺悟なかるべからず今や西伯利亞方面の露國人は民族的漂浪に流轉し幾多の利權を遺棄して亦顧みる者少し此際

◇利權を收拾する者は◇米人に非ざれば日本人なり最近に於て大連山縣通り大正洋行主淺見亮氏が昨年十二月以來着手し來れる某大事業に關連して哈爾賓に於ける民間唯一の大鐵工場を買收せる如きは日本の爲め大ひに心強く感ずる處なり同鐵工廠は哈爾賓埠頭區サマンナヤ街に在り露人ジユラウレフの經營し來れる處にして從來北滿洲に於ける民間

◇最大の鐵工場にして◇工場敷地四千坪建坪四百坪職工二百餘名人夫數百名を使役し黑龍江松花江を航行する汽船の建造及び修理砲彈其他の軍器各種汽機及び汽罐等を製造し時價見積三四百萬留の工場を約二十萬留にて買收する事を得登記を了し工場を

◇哈爾賓鐵工廠と改稱◇同時に優秀なる多數の技師職工を雇ひ益々事業を擴張する事となりたるが此の買收當時に於ては多數の米國人猶太人等暗中飛躍を爲して有ゆる妨害を試みたりしが淺見氏は是等米人及び猶太人等の試みたる猛烈なる運動を却け

◇幾多の困難に打克ち◇日本人の爲めに萬丈の氣焔を揚げたるが更に某方面に向ひて活動をつゞけつゝあり淺見氏は曾て關東都督府囑託として青島攻圍戰前龍口にありて特別任務に服し功勞あり現龍口銀行創立等にも關與し居れり日本人が西伯利亞に經濟的出動を爲し以て米人に對抗し確固たる立脚地を作るべき事は日本人に取りて最も緊要なり此の意味に於て淺見氏は本事業の如きは實に近來の快事と稱すべきなり（大連）

●出兵の噂に　動ける穀價の激變　立消説と恐慌

新義州附近一帶に於ける一般穀價は昨年同期に比し騰貴せるも其半面に於て充分なる賣買行はれず輸送減退し仲買商として損失を招きたるものあり昨今市場の取引沈衰し農家經濟に影響を及ぼせるもの尠からざるもの、如く本年四月外米管理規則の實施に伴なひ主要穀物たる雜穀の輸送減退に和し其の原因をなせるやの模樣あり今本年一月以降六月に至る輸送狀況を昨年同期に比すれば

（大正）	批觀	中の島	合計
六年	七八八一	一三八四	九二六九
七年	五八二八	二八六七	八六八五

備前記六月間に於ける平均穀價を調査し昨年同期に比較するに

品名	昨年	本年	騰貴
大豆	八、〇〇〇	九、五〇〇	一、五〇〇
[illegible]	一〇、〇〇〇	一〇、五〇〇	五〇〇
粟	七、〇〇〇	七、五〇〇	五〇〇
稷	一三、〇〇〇	一六、五〇〇	三、五〇〇
[illegible]	一三、〇〇〇	一六、五〇〇	三、五〇〇

の如くにして穀價は昨年末頃より漸次騰貴の氣配を示し本年三月より四月初旬に亘りては西伯利出兵問題喧傳せらるゝあり爲めに平北唯一の市場たる定州及び附近の市場に於て鮮米の軍用を見越し買盛んに行はれたる影響を受け玉蜀黍の如き貨車積一車三百圓乃至五百圓内外の手附を交附し又は中の島取引場は上流各地に出張員を派し先約を結ぶ等空前の盛況を呈し二月九圓臺なりしものも三月に入り一躍十一圓臺を突破し四月には十二圓五十錢に昂騰し臨時仲買人續出し買出を爲せる等ありしも其後出兵説消滅と共に定州地方に入り込みたる仲買商人等は手附金を放棄し契約解除をなし取引を中止せる狀況なりしを以て同地附近に於ける穀價は俄然暴落せるが農家の金融潤澤に伴なひ一般賣惜みの狀態に陷り輸送減退を見るに至れり又政府の米價調節の如きも只管先高を豫想し賣買行はれず五月に入りては九圓臺に降り全く沈聊か穀價の價格を下落せしめたる一遠因たらんも要するに當地方の穀價は定州附近米穀市場取引の多甚こ一時出兵説に左右せられたるもの、如し（新義州）

●慶北共進會

◇今秋大邱にて開催す◇

▼建物の釜山著　共進會用として買收せる建物は過般船の舍荷せしが去る二日釜山到著直ちに陸揚したれば兩三日中に到著すべし

▼京鐵道の出品　目下出品申込み最中なるが現在點數五百點以上に達し尚ほ其他に陳設品の出品ある旨通知ありたり

▼朝鮮興業會社　慶山の同會社は社員を大邱に派し實地觀察の上五坪内外の參考品出品方を申込めり

▼熊本大林區署　に對し曩に交渉中なりし同署より曾て九州沖繩物產共進會に出品せし事ある内大臣所伐作業模型並に柴林寫眞及び耐酸石灰製造模型の出品方に付いて今回同署より運搬費を共進會に於て負擔するに於いては差支なしとの回答に接したれば同費用は負擔することに決したり

▼大山商會足袋　釜山大山商會は共進會に際し大々的廣告方法を計畫中なるが近く人目を驚くべき趣向發表するに至るべし

▼共進會徽章　共進會役員並に協贊會役員同會員等の徽章は東京旭商會に註文せり（大邱）

▼琿春の産物　間島琿春地方は漸次交通機關整備し彼我貿易は益々增大を加へつゝあるの狀態なれば同地方の產物を出陳するは貿易促進の爲め裨益する所少からずこし度支部より同地方の出品方を勸誘すべしとの通牒ありたり

▼九州九谷燒　を以て知られたる博多の戸江商會よりも賣店設置の爲間口五間の借入を願出たり

▼各種の模型　京城商品陳列館より借受けの交渉纏りたる朝鮮地圖模型並に保管轉換を受けたる燈臺模型及び鑿紙貯藏氷庫模型其他花の類孰れも到著せり（大邱）

▼山本商店　東萊郡海雲臺の同店より賣店借入を照會し來れり

●蠶況と農作

蠶改良上の指導功を奏す　見直せる作柄

今回成川順川价川の三郡に出張し蠶繭共同販賣の狀況並に一般蠶況を視察し來りしが本年は前年の經驗により繭の販賣を改め指定商人を選定して共同販賣を爲さしめたるところ

◇◇成績極めて良好なり◇◇從來繭の賣買が品位を定めずして取引せられ其れが爲め地方養蠶家に多大の損失を蒙らしめたるのみならず一般に平南の繭は其質不良なりこの非難を受けたるが今回の取引は特等一等二等三等の區別に依りて賣買せられつゝあるを以て賣手の方にも滿足を與へ又繭の聲價を上げたること甚大なり然しながら今尚

◇◇不正仲買人の地方に◇◇入込みつゝあるは誠に遺憾に堪へず幸ひ本年は特等品は十圓四十錢一等品は九圓二十錢二等品は八圓三十五錢三等品は七圓五十一錢四等品は六圓六十錢の價格にて取引せられ昨年に比して

◇◇平均一割以上の高價◇◇なりこ尚出荷は未だ僅少なれども全體を通じて收繭豫想の如く一割以上の增收なり一般地方の蠶況は良好にして麥作の如き一時二割減の悲觀說出でたるも十月下旬以來の降雨にて俄に成績良好となり二割減は

◇◇二割增收の反對成績◇◇を認め得るに至り農民の喜悅譬ふるに餘りあり又田植は全部完了し用水潤澤にして其後の成績極めて良好なり然るに此程順川地方に夜盜蟲發生し憂慮すべき現象にあるが一般農民も害蟲驅除の必要なる所以を知り母が娘を伴ない籠を提げて驅除に從事せるを認むるに至れり目下郡に於ても警察官憲の援助を受けて絶滅的驅除に努力し居れり（平壤）

●鎭南浦廻米豫想

鎭南浦に於ける朝鮮米在庫高は現在に於て玄米二千四百石、中白米二百五十石、精米六千石、籾六萬四千石、粉米四千六百石、其他二百石合計七萬七千四百五十石にして本年十月末迄の廻著見込高は籾六萬石にて内輸出一萬五千五十石移出四萬七千四百石計六萬二千四百五十石の豫想にして前年に比し著るしく增加し居れり（平壤）

江上の流燈！沙上の篝火！

七月十三日土曜日（雨天順延）夜八時より例年の通り龍山漢江人道橋を中心として朝鮮昔時の雅遊たる

漢江觀火大會

を開催す清流に輝き渡る數千の流燈滿天を花と飾る數百發の煙火沙上紅蓮を吐く幾百の篝火！

滿空を繚爛花と飾る煙火

主催　京城日報社　毎日申報社

●新築こ聞や早くも買占め

◆三菱製鐵所の新社宅◆兼二浦三菱製鐵所に於いては今回三等社宅數十戸を兼二浦新郷堤防敷地附近に新築すべく目下地均工事中なるが早くも之れを聞き知れる市民は附近の土地を買ひ占めんと奔走中なりと云ふ（兼二浦）

●製革法改良

黃海道に於ては昨年より牛皮を改良する目的にて塩乾皮法を實施以來其の品質非常に優良となりたるが最近牛價の昂騰こ農繁期に際したる爲め牛生產高は非常に減少し之を一昨年の昨今に比較して三分の一位に過ぎざる由なるが市價は大中皮上等品にて百斤六十圓小皮八十二三圓位なりと（海州）

●一日に六萬二千五百圓の鐵ができる

七月一日から兼二浦にて第二溶鑛爐の火入れを行ひたる兼二浦製鐵所に於ける銑鐵產額は七月一日より一日百五十噸の產出ありこれを時價に見積るときは六萬二千五百圓なりと（兼二浦）

●警察官の貯金

◆九十六人で七八千圓◆兼二浦警察署…[illegible]…貯金は總額約一萬で一人の…平均百二三十圓になる、警員が九十六名で外に雇員傭人合せて百十數名の内…[illegible]…

●雀の爲めに

◆荒さる、稻の損害◆慶北管内にては多年雀害の驅除を奬勵し來りたる結果近時漸次當業者も驅除の效果を自覺するに至りたるが大正六年中に於ける慶北管内の捕獲總數は二百十六萬三千三百一羽に達し此が爲め雀害を免れたる籾量豫想高は實に八千六百四十九石三斗二升四合の多額に達したるを以て尚引續き之が奬勵を爲しつゝあるが本年第一回（一二月）の成績は左の如し（大邱）

驅除戸數（一三五、六四六戸）雀巢數四二七、〇〇〇（個）親雀三三五、九〇六羽、卵三二、二八六個（合計三三一、三八二羽）

●聯合運動會

◆今秋鳥致院に於て◆忠淸南道第一區公立普通學校長會議の決議により聯合運動會を來る十月十七日鳥致院に於て擧行する件は去る二十九日三十日論山に於て開催したる校長會議に於て決定したるが出場郡は牙山、天安、鳥致、公州、大田、論山の十九校にして選手は百五十名以上の學校は二十名宛、百五十名以下の學校は十名宛を出場せしむる筈にして總出場選手は三百二十名の豫定なりこ（大田）

東京大相撲

京城日報御愛讀者にして此割引券御持參の御方は卅錢の木戸料を廿錢に割引致候

木戸割引券

（元山興行中）

後援　京城日報社

●官吏講習會

◆夏期休暇を利用して◆忠淸南道廳にては夏期休暇中大田に於て吏員の講習會を開き目下歩兵第八十聯隊第三大隊に於て軍隊見學をなすべく交渉中なりこ（大田）

●教師の讀書會

忠淸南道の各公立小學校公立普通學校に於ては職員の修養を目的として各郡に於て讀書會を組織し數十の新刊書及び雜誌を共同購入の上回覽する事に決したるが會費は校長及び職員相應に醵出して希望の書籍は會員より理事に申込み理事之を購入して回覽せしむる方針なりこ（大田）

●校長の軍隊見學

忠淸南道第一區各公立小學校長は來る八月一日より約一週間の豫定を以て大田駐屯歩兵第三大隊に於て軍隊の見學を爲す事に決定したるが出張する見學者は約三十名位の見込みにして軍隊内に起居し兵營内一般の見學をなす筈なりこ（大田）

●生徒と煙草試作

大田公立普通學校に於ては生徒の實習用として東洋拓殖會社の慶事業にかゝる土耳古種煙草を栽培にて試作する筈なるが本年は約四千本位に止むべしと（大田）

●トルコ葉移植

東拓の委託栽培にかゝる大田論山兩郡の土耳古葉移植は過般の豪雨にて一時中止せし處天候回復したるを以て移植に着手し十日前後には全部の移植を終るべしこ（大田）

●果實栽培業者協議

大田果實生產者は四日小田原農場に於いて協議會を開き果實販賣上に關し打合せを爲したり（大田）

●大田の新築入札

大田公立普通學校女子部の新築及び簡易工業學校の新築工事は旣に設計成りたるを以て本月中旬頃大田郡廳に於て請負の公入札に附する筈（大田）

大連埠頭の怪火も警戒の嚴重なのこ犯人懸賞搜索こに恐れを爲したか近來一寸小康の體である▲處が發火の原因は依然不明である過日不斷の塊が火災のあつた附近に散らばつて居たので放火の端緒を得たるが如く言傳へたが之れも何だか判らない▲大方カバーに引いてあつた蠟が熱の爲めに鎔解して滴つたのであらうと云ふ事だ▲大連隨一繁華雜鬧の浪花町では市役所で撒水して異れるだけでは砂塵を防ぐに足らずこ爲し今回町内費で撒水する事に決したさうだ▲二日大連驛の貨物係の前に子供が長くなり寢て居るので警官が訊ねて見ると此の子供は奉天穗積館の附屬になる子供で▲大連小學校に通學する目的で姉から大連迄の切符を買つて貰ひ十錢銀貨一ッ貰つて來たのださうだ▲姉のハルヨは弟を萌醫化し大連に乘た譯だが恰度都合よくハルヨの朋輩の酌婦が來合せて引取つて行つたさうだ（大連）

京日愛讀者に　酬ゆる爲め

第二回巡廻お伽講演

◆本社は地方愛讀者諸君の愛顧に酬ゆる爲め第一回地方巡廻お伽講演を會し多大の歡迎を受けました依て今回は更に

西鮮及滿洲の一部

◆各地に開催する事になりました、少年少女達は申すに及ばず何方でもお誘ひ合はされて聽きに入らつて下さい◆入場料は無料にて無論有志の金品寄贈は斷じて申受けません

◆巡廻お伽講演日割

地名	日	時間
開城	八日	自午後三時至午後五時
新幕	九日	同上
瑞興	十日	自午前十時至正午
沙里院	十一日	同上
黃州	十二日	同上
兼二浦	十三日	同上
中和	十四日	同上
鎭南浦	十五日	同上
平壤	十六日	未定
新安州	十七日	自午後一時至午後三時
定州	十八日	自午前十時至正午
宣川	十九日	同上
義州	廿日	同上
新義州	廿日	午後
安東縣	廿一日	同上

京城日報社

櫻岳　藤戸計太著

最新朝鮮地理

菊判クロース金文字入八百五十頁　定價金二圓　郵税十二錢

著者は地理研究に熟識にして半島の言語、風俗、習慣の調査に精通せる朝鮮通にて曾て學生時代に支那富源揚子江を著し盛名嘖々たりしものありしが今回更に地理研究の結果を發表せり

一本書は大正二年十二月の道府郡行政區域の改正及び其後各道に於ける面洞里の廢合に依る最新の朝鮮地理書にして内容第一編に於て沿革、位置、境界、地勢、氣候、產物、人種、族別、民籍、戸口、言語、文字、風俗、宗教、教育、衣食住、行政、財政、經濟、產業、商業、交通を記し第二編各道に於て沿革、位置、地勢、交通、經濟、產業、商業、戸口、著名山河等を記し第三編各地七百餘ケ所に於て沿革位置、地勢、交通、商業、產物、戸口表、官公署、學校、會社、組合、町名、名所舊跡等を記し加ふるに實用的各種の參考表を以てせり

一本書は附錄として アイウエオ別道府郡島面索引及内地、臺灣、關東州、樺太の地名表及五十音別目次を追加せり

一本書は地名には朝鮮諺文を附し日本假名を以て音讀を附加し國語、朝鮮語の連絡を知るに便し引いて字音の關係に依り内鮮關係の密接なるを明白ならしめたり

一本書は内鮮人を問はず官民を論せず朝鮮に於て公私諸般の事に從ふ士の最新最好の案内者たり指導書なり

一本書は各種學校各官衙各銀行各會社に最も關係ある著名地の必要なる各般の事項を蒐集せるを以て各種學校、講習會の良參考書なりこす

一本書は繁閑中庸を得て取捨宜きに適し讀者をして通覽一過直に半島各方面の事情を遺憾なく通曉せしめ行政に商工業に金融經濟に運輸交通に便ならしめたり

一本書は朝鮮を經營し又旅行せんこするものゝ爲めに充分なる調査研究資料を供し事業計畫實行に當り最良指針たり又旅行探險者をして安全なる進行をなさしめ毫も渉水を路渉するの危險なからしめたり

一本書は名山麗水名所古蹟に關する詳細なる調査資料を供し遊覽者の探勝歴史家の探究に便せり

一本書は全編五百頁文を縷けは卷を掩ふ能はざるを得べく立て全道諸般の事項に當り安んじて活動するを得せしむることを注意せり

一本書は資材正確周到を極め讀者をして多趣ならしめ誠に空前の好著なりこす

朝鮮事情に精通せんとする有志者は速に本書を座右に備へられんことを望む

發行所　京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城二〇〇番

取次所　大阪屋號　日韓書房

家傳　らい病藥　石井佐兵衛

ヒキツケル病を自宅で治すひみつ最善療法無代で教ゆ　てんかん　救生館

本校卒業特定　男女誰でも無試驗　製藥士

產地　織元から買へ　地方へば　吳服店の半直段

大島銘仙　結城紬　縮緬　セル　桐生織物販賣所

田村質店

流行燈袴　▲特價金拾圓也▼

英國製にして「シワノヨラヌ」評判の品

京城日報社代理部

鯨問屋　香月商店

▲謎　▲物は付け見をてゐるものは　▲謎避姙具ざかけて

▲發表後一週間以内に到着又は同一通　▲懸賞當選者には五十錢割引券を呈す但何書何號と明記に限る　▲宛名は京城日報編輯局謎係

報豫

▲京城溫度　七日　八十一度七分　二十七度六分　前日最高溫度　八十二度九分　二十八度三分

汽車

京釜線（南行）	[illegible]
同（北行）	[illegible]
京釜連絡	[illegible]
京義線（南行）	[illegible]
同（北行）	[illegible]
京仁線（仁川行）	[illegible]
京元線（北行）	[illegible]
同（南行）	[illegible]

講談　塚原卜傳

第百二十九席　悟道軒圓玉口演

弾正左衛門烈しく下知をすれども誰一人として向ふ者もなく、また向ふ者があつても刀で切付ければ刀が折れ、槍で突けば槍の穂先きが折れる、其中に猪が飛込んで來て牙に掛けて刎飛す、手負は數知れずアレヨアレヨと立騒ぐばかり何しろ身體一面に松脂を塗つて砂の上に轉がり、天日で干固め、亦松脂を塗つて、固めた身體だから刀槍は固より鐵砲でも打仆せない古猪、猛も猛つて弾正左衛門の眼前へ飛來り、只一突きと跳掛る、大に驚ろき弾正左衛門『弾ヤア誰かある猪を打取れ、打取つたる者は恩賞望みに任せるぞ』と大音に呼はる、アハヤ猪は飛來つて馬諸共弾正を牙に掛けんとなしたる處へバラバラと走り來つたる一人の勢子、海老胴の具足に桔梗の陣羽織、鐵の陣笠を目深に被り、鉄竹を押さへて居りますのは別人ならず彼の熊吉、躍掛ると見るなが猛り狂ふ大猪の鼻杵を目掛けて足を擧げて發矢と蹴上げた、大力の熊吉に蹴飛ばされて流石の古猪も撞と倒れたが固より牛に等しき大猪でありますから起上ると猪口才なと一突きと飛掛つて來る〇『ア危ない逃げろ逃げろ』と口々に御止するを耳にも掛けず、ヒラリと體を轉したる熊吉、勢ひ餘つてハッと一足踏越したる猪の、背中にヘボーンと飛乗つた、猪は背中に乗られて怒り百千倍となつて驀進に駈出す奴を落されじと片手に怒り毛を掴んで兩足に力を籠め、ウムと一締め締め付けて踏ばかつたる其形勢は、建久の昔し、富士の裾野の牧狩に仁田四郎が偏きらくやあらんと思はれて一同の人々思はずワーツと聲を擧げて賞賛する、久時は右往左往に乗廻して居たが時分を圖り熊吉、彼の落した満身の力を籠め熊『エイツ』と大喝一聲、猪の腦天を目掛けて微塵になれとポカーリ打つた、伊豆一國に双びなき大力、小田原の石牛を打破つた位ゐの熊吉に打たれて猪もいかでか堪るべき、ウームと苦しき叫び聲を出だすと共に兩眼ボンボンと飛出し、口から鮮血どくどく血を吐いて屏風を倒すごとく打倒れ、只一打で打殺されて了つた熊『ヤ』飛下りて足を擧げ更に鼻杵をウムと踏碎いて止めを刺した、之れを見たる一同は舌を卷いて其怪力に驚ろいて居る、弾正左衛門大に驚き弾『アレ彼者の名を聞くやうに、天晴なる働き、前代未聞の快力である、早く目通りへ召連れて參れ〇『ハッ』と答へて吉沼五左衛門其れへ走來り　五『コレコレ其方は何と申す者だ、天晴なる働き殿の御感に入つたぞ、早く名を申せ』熊吉帽を脱いで　熊『ヘエ吉沼の旦那樣私でございます』と顔を見せた、五左衛門ヒヨイと見ると小間物屋の小松屋四郎吉、豫て自分の屋敷へ出入りをして居て馴染の男だからアッと驚いて　五『ヤア貴樣は四郎吉ではないか、何うして貴樣茲へ來た』熊『ヘエ實は之々斯々で、大好きな山狩り是非お供をして話の種にと存じ、部屋頭に頼んで足輕衆の中へ入れてお貰ひ申し、漸々本意を遂げましたが只今拝見して居りやア宜いものを何か一匹功名をと存じましてつい熊んな力立てを致しまして面目次第もございません、どうか殿樣へ宜しくお詫を願ひたう存じます』五『イヤ詫ごころではない殿も大層御感なすつてお仕だ、何しろ貴樣が懸んな大した働きをしようとは思ひも寄らぬ、恐ろしい怪力昔しの京坂甲緋殿にも劣らぬ技倆、中々我々の及ぶ處ではない何は兎もあれ御前へ參るやうに』と吉沼五左衛門が熊吉を連れて弾正の前へ來り話をすると弾正も不思議に思ひ、近く熊吉を召して其面を見ると年の頃二十七八の色の黒い大柄な人物

◎大田と遊廓

◇風紀上と衛生上◇
漸く決定したる敷地（續）

▼前に云うた通り市街より遠距離であれば嫖客の出入に不便である、したがつて市中に密賣淫婦の危險がある、と云つて河畔であるとか、鐵道沿線と云ふ樣な四方から見透かさるゝ處では風紀取締の點に於ても不便がある、と云つた如に五箇所の候補地の内より現在決定の土地を取つた次第であるが一部の論者は大田の發展に伴なひ近き將來に於て他に移轉の必要がありはすまいかと云ふものがあるけれども之は杞人の憂ひに過ぎない、若し萬一遊廓の移轉を餘儀なくせらるゝ如き事もあつたら、洵に大田の幸福である、當時ある向より木尺の運動場を買つて見れたら、其の御禮として學校組合に三千圓かの寄附をするからとの運動もあつたけれども、遊廓の敷地買收の代償として教育基金に寄附をすると云ふ事は賞めた事では無論ないし▼殊に木尺の河畔では、四方からの展望は利くし風俗警察眼から見て如何にも決定する譯には行かなかつたのである、現在の敷地を買收するに當りても地主と當局との間に忌はしい關係でもあるかの如く言ひ觸らしたものもあるように聞いだが、是れこそ以ての外の事である、當時當局に於ては敷地決定の以前に地主より假令遊廓の敷地に決定しても評價何圓以上に値上はしませぬとの誓約を取つた後に決定した位で現に其會社が今度其の敷地を一時準入するに就ても其の價格を以て買收した次第である元來畑地を宅地に變更してさへ地價は暴騰する、況んや遊廓に使用すると云へば假令坪二圓内外の土地でも必らず十圓十五圓と離上げらるゝは自然の勢ひである

暦

七月九日　九星
舊六月二日　丁巳
本命一白　北開　先勝

一白　うんざりする事有目新事見合方は吉昭　鍛北▲二黒　腦寄　主義の事に用心せら　天然の…[illegible]

演藝案内

京城壽町　電話五七八　壽座
[illegible]

電話二三六三七　二三六六　黄金館
[illegible]

明治町二丁目　電話二六〇番　浪花館
[illegible]

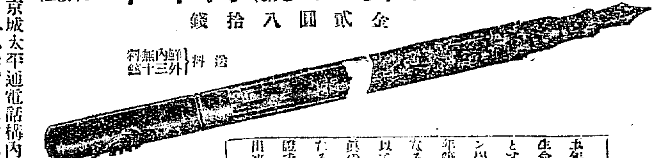
京城本町　電話一〇五番　壽館
[illegible]

櫻井町　電話八七三　大正館
[illegible]

京城　有樂館
[illegible]

パイソン（學生號）萬年筆

金貳圓八拾錢



發賣元　京城太平通電話構内十八番　京城日報代理部　振替京城三〇〇番

寫眞　京城日寫眞製版部

純中ノ純　精中ノ精

猪印　のみとり粉

定價　吹出散布器入　金二十錢　立罐入　金十錢、金五錢

到ル處ニ販賣店アリ

京城　朝鮮銀行

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

振替貯金口座六〇一〇番　電話京城三三三番

支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、寬城子、傅家甸、龍井村、鄭家屯、上海

出張所

右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

醇良無双清酒

衛生無害品質無双

發賣元　京城府黄金町二丁目　首藤京城支店　電話一一七一番

釜山港幸町　首藤釜山支店　長電話三四三番

イケダ小兒内科醫院

京城三越吳服店前へ入る旭町四丁目　電話（醫院一三四番）（自宅二〇〇〇番）

池田季雄

雨合羽　色々

洋傘　雨傘

旅行用具一切　京城本町一丁目　電話一三四番　高木旅行用具店

日ヤケはどうして　ニキビ防せぐか

東京美容院長北原十三男先生は顔や毛について最も古き唯一の研究者であり幾同洋行に依りて得られたる新智識と二十年間の經驗により出來たる…

色の白くなる藥　毛生藥ぬけ毛止

發賣元　東京神田駿河臺發町　日本化粧品株式會社

MITSUWA QUINA-IRON WINE

being prepared from the best materials after thoroughly scientific investigation, is absolutely free from all defects will be found in general tonics. It contains two powerful specifics: Quina and Iron, which we may affirm it without exaggerations, are the most efficacious remedies for regaining energy to persons of weak constitution, inappetence, poverty of the blood, nervous diseases and general debilities in the organism. The wine is greatly nourishing to all people, without exception, whose mode of life, both physical and intellectual.

Mitsuwa Quina-Iron Wine is very delicious and agreeable to take and moreover, easy to be absorbed and assimilated.

Price ¥ 1.70

病者の食慾を催進して營養を佳良ならしめ

治病の完璧を期し回春の喜を迎へしむべき滋養強壯料

◎ミツワ規那鐵葡萄酒（みつわきなてつぶどうしゆ）

香味色佳良滋養力偉大

健胃補血興奮作用卓絶

本品は山梨縣宮崎葡萄酒釀造所醸製の天然葡萄酒を基礎とし、純良有効なる規那並に鐵を特殊の操作を以て配合し、周密なる用意の下に精製せるものなれば、香味に優秀なる効力を有し、天然の佳香、美味を具へ、食慾缺乏、營養不良、慢性の熱病並に下痢、貧血、萎黄病、貧血より起る神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、産後並に病後の衰弱等一般の虚弱等に際して適用すべき無比の滋養的飲料なり

定價　一壜金壹圓七拾錢（内地以外は運賃を加ふ）

▼如斯人は滋養料◎ミツワ規那鐵葡萄酒を用ふべし▲

一、食餌の進まぬ病人
一、榮養の衰へた病人
一、元氣の無い病人
一、貧血して居る病人
一、是と云ふ病は無くても何となく弱く感冒に罹り易い人

一、産前産後の滋養を補ひたい人
一、病後の衰弱を早く回復したい人
一、色蒼く肉瘦せ活潑ならぬ人（所謂腺病質の人）
一、腺病、即ち瘰癧に罹つて居る人
一、頸細長く頬瘦け咳嗽や痰の人並より

一、最も多く用ゐる所謂結核性素質の人
一、肺結核、腸結核、肺尖加答兒や肋膜炎、其の他結核性の病などに永く苦しんで居る人
一、右の如き病で發熱の永く續いて居る人

一、下痢の永く續いて居る人
一、ヒステリー俗に謂ふ血の道に侵されて居る人
一、ヒポコンデリー俗に謂ふ心氣病に罹まされて居る人
一、萎黄病など血液の病に罹つて居る人

MITSUWA GINSENG WINE.

Mitsuwa Ginsing Wine, being rich in the nutritive properties which build up vitality and strength is very delightful to taste and also remarkably wholesome and nourishing to the weak and sick. By means of the exclusive method the fresh juice of the grape and the efficacious Ginseng are mixed in a well-balanced combination. Then it is assimilated completely and transformed, with the least possible tax on digestion, into the elements of active capacity and power. Mitsuwa Ginseng Wine is especially effective to be applied in the following cases: Energy decline and low spirits, Nervous bebility, Innutrition before and after delivery, Night spoil, Poor appetite, Indigestion, Poverty of Blood, Hysteria.

Price ¥ 1.80

健者の物質代謝を旺盛ならしめ疲勞を除き

身體の強壯を圖り尚新活力を賦與し得べき

◎ミツワ人參葡萄酒（みつわにんじんぶどうしゆ）

風味高潔清和滋養豐富

元氣增進興奮作用優秀

本品は科學的研究を經て効力卓絶なる人參を、周密の操作に依り、芳醇無比の葡萄酒に配合したるものにして、其の色は紫紅にして鮮麗、其の香は芳芬にして淸爽、其の味は濃厚にして輕快、能く何人の嗜好にも適應し、元氣を增進せしめ、榮養の佳良並に身體の強壯を致し、精神の困憊並に筋骨の疲勞を除き、常に健者に新活力を賦與する上に於いて他の物を以て代ふべからざる効果あり、本品は隨時隨處飲用すべく、一度通暁したる水或は酸類の清涼飲料を以て稀釋するも可なり。

定價　一壜金壹圓八拾錢（内地以外は運賃を加ふ）（現品細見ゑ）

▼如斯人は强壯料◎ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

一、元氣を盛んにしたい人
一、精神を爽快にしたい人
一、身體を強壯にしたい人
一、精力を旺盛にしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、延年長壽を願ふ人

一、病者や不快な感慮が忘れたい人
一、精神や筋骨の疲勞が早く回復したい人
一、食餌を進ませたい人
一、消化を良くしたい人
一、榮養を良くしたい人

一、精力が減り元氣の無い人
一、勉強又は勞働して疲れた人
一、生來虚弱な人
一、身體の衰弱けて居る人
一、貧血して居る人
一、顔の色蒼褪め艶の無い人

一、手足や腰が冷えて憑かれぬ人
一、些細の事まで氣にかける人
一、悲しい事も無いのに泣きたい人
一、悲觀して厭世的になる人
一、精神欝々とする人
一、時々氣が欠る人

京城日報

第五版

[illegible]斯界の好勢に刺戟せられ關係の航[illegible]海に從事す可き何等故障なく[illegible]方法を採り[illegible]一時的の經濟策
[illegible]の外は必ずしも高率なる[illegible]せずと云ふに在り[illegible]之が達成の增加を[illegible]する向きも[illegible]
▲地方商船學校に對し[illegible]將來に於て船員不足問題の爲一大[illegible]

露國市場の將來と諸問題（七）
對露貿易に關する諸問題（完）

●露國に於ける會社組織問題●

露國の會社法規に關しては一般に誤解せられ居る點多く米國に於ては一般人士は其法規極めて複雜且つ制限的なるが故に到底同國内に於ては有効に商事遂行を期する能はずと爲せり、然れども吾人一度過去十五箇年間に於ける同國株式會社の急激なる進展の状況を觀察する時は右の如き觀念の如何に誤れるかを知るに足らん、即ち一九〇三乃至一九〇七年の五箇年間に於て四百十九の株式會社は其業務を開始し其の總資本金は正に一億八千五十四萬弗と註せらる、其の後の五箇年間即ち一九〇七―一九一一年中に於ては更に七百七十八の株式會社設立せられ資本金總額四億五千三百九十萬弗となす、爾後の發展に就ては最近同國大藏省の發表に係る左記の數字に依りて之を參照すべし

年次	株式會社數	資本金額（弗）
一九一〇	一〇四	六〇、八二三、六〇〇
一九一一	一六六	九四、五〇四、五〇〇
一九一二	二〇二	一九〇、六八〇、六〇〇
一九一三	二四〇	二〇五、六〇二、九三〇

而して戰前に於て同國株式會社の資本總額は二十億二千二百十五萬弗に達したるが中二億九千九百三十七萬弗は外國資本なりとす、外國會社は一九一二年に於て二十の設立を見資本總額千九百八十九萬弗一九一三年には二十一社其資本總額千八百三十六萬弗なりとす。而して其中十一會社は英國四は白耳義三は佛蘭西二は獨逸一は和蘭に屬せり、一九一四年の前半期戰爭勃發前に於て設立を見たる外國會社數は八社にして其内譯は英國三佛蘭西二白耳義一獨逸一和蘭一なり

以上の事實に徴する時は現行法の下に於ても露國内に於ける會社組織の十分に可能なる事は明白なり、然も猶ほ同國の現行法規が常に滿足すべきものなりとの謂に非ず、同國實業界の現状は法規改正の極めて緊切なるを實證するものあり、一九一六年四月四日商務大臣シユワコフスコイ公は議會に於ける演説中に述べて曰く『我が國發展の爲に我が會社法規の改正は甚だ必要とする所なるが政府に於ても會社設立手續を容易ならしむる方策に就ては目下立案中なり即ち該手續の爲に數箇月を要せしもの今後は數週間にて事足るべし現行制度は特許主義を採るものなるも新法規は新に登記主義に依らんとするものにして吾人は又[illegible]外國資本の必要上大に外國資本を歡迎するものなり』と、而して[illegible]は之に對し滿場一致を以て[illegible]速かに該改正法案を提出せん事を求めたり、斯の如き次第にして同國の會社法は近く其改正を見るべしと雖も之を以て米國實業家は其の活動を延期すべからず、對露商業關係は一日も速かに之が基礎を確立し之が發展を期せざる可らざるなり、惟ふに對露商業關係を密接ならしめんとし對露貿易投資を劃策するもの豈獨り米國のみに止まらんや、世界列國何れも皆露國が正に其有望なる經濟發展の域に達せんとするを看取せるものなるが故に吾人は同國現行法規の下に於ても速かに其正當なる權利を確定し置かざる可らず、今次に同國現行會社法の大綱を掲げん

時局と鑛業界の契約問題（三）

辯護士　吉武繁

▲德大式契約の法律上の効力　德大式契約なるものは現に朝鮮鑛業界に於て盛んに取結ばれ實現されつゝあるが、實際に契約當事者間に其契約を遵守して行けば別に研究する必要もないが併し茲に一旦法廷に於て其契約の効力を爭ふに至れば、其契約は有効でない事に高等法院判例上確定して居る、即ち其鑛業權者が其德大との間に締結したる契約は、法律上有効と認められない、夫故に其契約に基き契約履行や、又は其契約の不履行に依る損害賠償の請求も立たぬ、換言せば其契約を以て法律上權利義務の羈束を受けないのである、何故當事者間に自由に締結した契約を無効とし、法律は保護せぬかといふに、是れは鑛業法上立法趣旨に基くといふか乃至は鑛業政策上に基くと云ふか兎に角、德大式契約は法律上無効である、鑛業權者自ら採掘せば自己の鑛業權利に屬するものなれば出來る丈正式に坑道を開鑿し、出來る丈多量の鑛石を採取する計畫を立てる、尚進んで深く入るも危險のない樣に永久的持續の方法を講ずるのであるが是れに反し德大となれば鑛業者の將來の利益を眼中に置かず、出來る丈け費用と勞力とを少くし、短日月の間に出來る丈け多くの利益を得んと計り、後日坑道崩壞し採鑛の見當を失ひ、廢鑛に至るも顧[illegible]是れ即ち國家的[illegible]國家の隱れたる財[illegible]法を誤り、永久に地中[illegible]取する機會を失ふに至る[illegible]である、鑛業權者は自分の權利なれば自分に利益保護の觀念あるも、之れに反し德大は是を放任せば勝手氣儘に亂掘する弊害多大なる事を慮り、鑛業權者が自ら採掘せず他人に之を放任する事を禁止する趣旨に出でたるものである、是れ鑛業政策上契約自由原則に對する制限を加へたる公益規定であると思ふ、鑛業法上の條文から云ふと舊韓國光武十年法律第三號鑛業法同年農商工部令第四十三號鑛業法施行細則に照すに、鑛業權を有せずして鑛物を採掘することを禁ずる規定あると、同施行細則に鑛業權を以て抵當權の目的となすことを許したる外、用益權の目的となす事の規定の存在せざるを參酌すれば、鑛業權者は自身又は少くも自己の責任に於て鑛業代理人を以て管理採掘することを要するものにして、其鑛業權を目的として他人に放任し採掘せしむる如きことは許さゞることゝなるのであります。

▲新鑛業法　即ち大正四年制令第八號朝鮮鑛業令は大正五年四月一日より施行せられたるを以て、是と同時に舊鑛業法及び同施行細則は廢止せられたるも、新法たる鑛業令第十七條に『鑛業權は相續、讓渡、滯納處分及び強制執行の目的たる外權利の目的たる事を得ず』と規定しあり、從つて右記載以外に鑛業權を以て權利の目的となす事は法令の認めざる處にて、鑛業權者にあらざる他人に採掘の權利を授與し、鑛物の採掘收益をなさしむる事は出來ない、換言すれば即ち鑛業權者が他人に自己の鑛業權を以て賃貸又は請負掘の契約の下に、即ち一定の期間一定の場所に於て賃貸料又は利益分配の歩割を請求する事が出來ない事となる、即ち賃借料又は利益分配の契約履行又は其契約不履行に依る損害賠償の請求をなす事が出來ぬ、夫故に賃借人や請負人が多大の鑛物を採取して利得する事あるも、鑛業權者は如何ともする事が出來ず、遂に泣寢入りをする外はない。

支那漫遊記

◎支那漫遊記は蘇峰學人德富猪一郎氏の近業也、想ふに著者が大正六年九月より十二月に亘りて支那を漫遊するや其の游跡は京城より滿洲に出で奉天長春を經て哈爾賓に至り奉天より大連營口を經て[illegible]山海關秦皇島を觀、天津より北京に入り北京より八達嶺張家口を經て大同に遊び湯山溫泉に浴して北京に歸り北京より京漢線に由り漢口に至り漢口より長江の汽船に搭じて九江に下り更に南潯鐵道に依りて南昌に向ひ再び九江に返りて廬山を望み南京より鎭江に下り揚州を訪ひ焦山に遊び鎭江より上海に著し杭州を觀、再び南京を過ぎ浦口より曲阜、泰山に至り濟南より維川、坊子、濰縣等を經て青島に至り是より歸途に就きたるもの此の漫遊記ある所以也、◎本書を分ちて二と爲す其一は著者が漫遊の行程を其日其日に記したるもの『觀光漫錄』是れ也、其一は著者が旅行中に觀察したる感想を歸朝の後に追錄したるもの『支那偶錄』是れ也、前者は敍事後者は評論にして各其の趣を異にするは言を俟たずと雖も一讀三歎の妙を同むるに至りては即ち一也、滿洲の平原松花江の秋色、紫禁城の雄大、八達嶺の奇峭、長江の壯觀、南京の懷古、西湖の風月、大成殿の莊嚴、青島の形勝一たび著者の筆を經れば躍動を眼らずして眼前に活現し來るを覺ゆるにあらずや、其觀察の緻密にして鑿々として肯綮に中り支那民族の性格、思想、風俗、人情、制度、文物一たび著者の手を經れば明鏡の妍醜を照すが如く表裏徹底せざるは無く必ずしも崇論横議せずと雖も實に堂々たる一家の經綸策と爲るもの著者の眼界識見既に他の作家と同じからざるものあるを知るに足るべし。若し夫れ前篇を以て春花なりと爲さば後篇は秋實也、兩者相俟つて神來煥發、[illegible]の半宵に屹立して其の絕頂を窺む可からざるが如く自ら天下の至文を成すに至りては著者獨歩の擅場なりと謂はざるを得ざる也。茲に本書を我が讀書界に紹介する所以のものは必ずしも其好む所に偏するが爲に非ざる也（東京有樂民友社發行）

八角亭閑話

自己に都合よき輿論を作り若くは自己に都合よく輿論を導く爲めに新聞を利用するは何の國でも執る所の手段で、例へば英國ではルーター通信を通じて、佛國ではアヷア通信を通じてそれぞれ其利益となる報道言說を世界に流布して居る▲それ故此等の報道言說を全然其相のみを傳ふるものと信じては大なる誤である、否多くの場合に其の反面を報ぜぬものと思つて宜しい。『恐く書を信ぜば書なきに如かず』なる金言の如く『恐く外國通信を信ぜば通信なきに如かず』と言ふべしである▲日本の西伯利出兵問題に關してもルーターは頻りに倫敦新聞の贊成論を打電して來り、恰も英國の輿論は出兵贊成なるかの如く見ゆれど其實は然らずして、反對の聲も中々高い、英國自由派の柱石たるマンチエスター、ガーヂアンの如き有力なる新聞は最も強く反對して居る▲獨逸も戰前新聞政策には頗る努めて居た。ルーターに對抗する爲めに横濱に本部を有し居たる日獨郵報社を通じて強く獨逸電報を東京の諸新聞に配附して居た▲斯の如きは諸國一樣の手段で別に驚くに足らないが、權謀術策に富める獨逸のことゝて此他に一の巧妙なる手段によりて世界の新聞を操縱して居た▲それは獨逸の大會社大商賣等が合同して一の會を組織し、その會から廣告と新聞材料とを自己の趣旨に從ふ諸新聞に供給する事であつた。其材料が獨逸に利益あるもののみなるは言ふ迄もなく、之を掲載すれば其代りに廣告を依頼すると誘惑するのであつた▲何れの新聞も廣告は其最大の財源である。此誘惑を拒絕し得る者が少からずあつたのは蓋し當然であらう▲現にセツル、ゾレスにも此誘惑の手が廻はつて來たが、同社では一丁の下に之を拒絕した相である

並行線（二十九）

瀧閑村

お夏の家は市を溯ぐ一筋で離れた市外にある。以前農家を改築したので、住居は粗末だが、屋敷は廣い、そしてこんもり茂つた熊野神社の杜を隣にしてゐるから、此邊は四時眠に快い。

宣太郎は朝早く起きた、中學校は午前八時の始業だから、一家は早く起きる癖が付いてゐる。朝は一寸散らつた後、片手で纏銘紙を繰り片手で顏を洗つた。

日はまだ街の方にある丘に遮られて、朝は肌寒い位の快さであつた、色々な小禽がまだ杜の暗を離れずに囀交してゐた。其聲が何とも云はれない諧調を造り、朝の清い、そして少し濕つた空氣を透して宣太郎の心を樂ませた。宣太郎は其若芝と其小禽に誘はれて裏口から境内の杜に入つた。

草と云ふ草、樹と云ふ樹は天から吸はれでもした如く、悠しく勢よく上へ上へ芽を伸ばし葉を繁らせた。春に眼蘇めた藪蔭に咲いた花は赤も白も紫も、もう大方落つて、孰れも實を結ぶべき支度をしてゐるのに遑かない譯には行かなかつた。

宣太郎は自分の毎日執つてゐた仕事の上から、自然を其儘に味ふ趣味を缺いてゐた。自然を捉へて何か人の爲に利用する事にのみ苦心してゐた。誰も川も彼の眼には水力電氣の源泉に映つた。野も山も彼の眼には工場の敷地に映つた。そして其間には色々な美しい名の下に、嫉妬、陷穽、詐欺、姦淫―そんな罪惡を巧に遂行しやうとあせつてゐる者のみが爭鬪しつゝある中に交つて喘鬪してゐたのである。

宣太郎は靜な心で梢を見上た。

『何と云ふ色だらう』

そこには櫟、櫻、椎、樟などの若葉が思ひ々々に新らしい装を凝らしてゐる。黃に近い若葉、綠の勝つた若葉、樺色の加はつた若葉、それらの若葉を淸んだ古葉はどれも暗い色をし乍らも、やはり枝を離れたくないと云ふ風に、しつかりと枝に縋つてゐる、宣太郎は老いた母と、窶した妻を思はずにはゐられなかつた。

『働かなけりやならない、働かなけりやならない』

力強く伸びて行く若葉は宣太郎を勵ました。威壓した。宣太郎はそれに勵まされて、斯う心に叫んだ。右手の繃帶をかなぐり棄てたいやうに思つた。すると朝鮮の會社の事が思はれた。昨日到着した高山からの手紙には會社の工事や事業の事は一言もしてなかつた。そして山本社長は細かく病氣を大事にするやうに、此方の事は心配なく、ゆつくり靜養するやうにと書いてあつた。

高山の活動、山本社長の事業に對する熱心さ、靜子の消息を絕つた事は、是れ綜合して自分はもう朝鮮に行く必要の無い事、會社から抛棄てられたのでは無いかと思はれる節が繁く無い。折角靜であつた宣太郎の心も、斯う思ふと大波の騷ぎを禁じ得ない。

靜子へは自分からは手紙を出すべき機會を失つてしまつた。今ではもうどうする事も出來ないと思ふ心につれて憤懣の情が湧き加はつて來た。それにしても結局は自分を恕れる外は無い事を知る宣太郎はジリジリして來た。

『俺は一體是からどうしたらいゝのだ』

透通るやうな若葉々々の美しい葉の隙を、縷のやうな朝の日が洩れて來て、思ひ惱む宣太郎の額を青く染めた。

晩秋山居

三省　秋元正親

秋深紅葉白雲山。萬壑泉聲落石間。偶坐軒窓人不到。空林疎雨夕陽閑。

評曰　白雲紅葉別成一境

霜夜聞落葉

綠雲　高田群司

寒夜蕭條少睡眠。霜華壓屋月痕孤。不知殘葉臨風落。簌簌何聲撲草廬。

評曰　靜夜欹耳。詩心飄逸

本紙定價　壹部參錢　壹ケ月七拾五錢▲郵税[illegible]
廣告料金　[illegible]
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話番號　[illegible]　振替京城三〇〇番

株式會社朝鮮殖産銀行株主募集公告

一資本金　一千萬圓（株式總數二十萬株　一株ノ金額五十圓）
一募集株數　十三萬六千四百三株（合併セラルヘキ六農工銀行株主ニ割當ツヘキ六萬三千五百九十七株ヲ除キタル殘餘）
一應募者ノ資格（帝國臣民又ハ帝國法令ニ依リ設立シタル法人若ハ公共團體ニ限ル）
一申込ノ期間　七月十六日ヨリ同月十八日マテ
一申込ノ方法　株式申込證ニ證據金（一株ニ付三圓）ヲ添ヘ各取扱店ニ申込マルヘシ
大正七年七月十日現在農工銀行各株主ノ申込ニ係ルモノノ內其所有ノ農工銀行株式數ヲ控除シタル殘餘ノ株數ニ相當スル申込株ハ優先ニ募入ス
一募入決定ノ方法　募集株式ノ總數ヨリ前項ノ株數ヲ控除シタル殘餘ノ株式ハ總申込數（前項優先募入ノ分ヲ除ク）ニ按分比例ヲ以テ募入額ヲ定ム但シ按分ノ結果端數ヲ生シタルトキハ適宜ノ方法ヲ以テ處理ス
一第一回拂込金額及拂込ノ期日　一株ニ付二十圓（證據金振替）八月二十日拂込
一政府ノ配當保證　設立初期ノ末日ヨリ五年間年百分ノ七ニ達スル迄利益配當ノ補給ヲ受ク但シ政府所有株ニ對シテハ十五年間利益金ノ配當ヲ爲サス
一當銀行定款ハ大正七年七月二日朝鮮總督ノ認可ヲ受ケ當事務所及各取扱店ニ備ヘ置ク
右ノ外詳細ハ七月八日ノ朝鮮總督府官報ニ掲載アリ尙申込事務等ハ各取扱店ニ問合ハサルヘシ

大正七年七月八日

京城南大門通二丁目　株式會社朝鮮殖産銀行設立事務所

取扱店名（內地取扱店ハ省略ス）
朝鮮滿洲　朝鮮銀行本店及各支店出張所
同　株式會社各農工銀行本店及各支店
同　漢城銀行本店及各支店出張所
同　朝鮮商業銀行本店及各支店出張所
同　韓一銀行本店及各支店出張所
同　第一銀行各地支店
同　十八銀行各地支店
同　百三十銀行各地支店

謹告

弊社勸業債券月賦販賣開始以來業務日に月に隆盛に赴き候は全く大方各位御愛顧の賜と奉感謝候[illegible]明治四十三年內務省令第二十二號に基き[illegible]御安心被下度尚弊社は[illegible]業務の發展を期し候間倍舊の御愛顧偏に奉願候也

明治三十七年創立　東京日本橋區南茅場町　日本勸業合資會社

工業經濟の急先鋒　燃料　發生爐瓦斯

工學士　井坂義一先生著　菊判布裝　二百九十頁　定價金壹圓八拾錢　郵稅金八錢

今や燃料の暴騰は高熱利用工業の一大打撃なり。此際石炭を瓦斯燃料に利用して能率の増進を計るは工業界の最大急務に非ずや本書はこれ等の製造原理を平易に講說し尚その製造及び設計上の必要なる諸點に就き懇切に記述せり。新進の技術者は以て其の技能の蘊奥を究め得べく多年の經驗家は亦新たに裨る所甚大なるべきなり。

東京神田　富山房　振替一〇五

貨殖捷徑策

債券公債所持者は安全にして一擧兩得の利殖策　確實にして趣味ある小資本にて面白く安全に金儲を欲する眞面目なる方は直に申込あれ内容詳細書無料送附す

大阪市北區曾根崎上三丁目一七三（電車道）　貨殖普及會

職業

原紙貸與選定男女　自宅で誰にも出來るキレイな手仕事　年中無休日收熟練　一間半隨意見本付説明ハガキにて　申込次第送呈（特約店募集）
東京淺草藏前　朝日商會總本店

花形の汽船株!!

汽船株の兩花形郵船、商船が五割六割の好配當を今後に持續し得るの[illegible]
大阪商船　東洋汽船　[illegible]

新田耕市商店

公債株式現物賣買
京城櫻井町一丁目　電話長一八八一、五九〇番

◎致富之捷徑!!　年五割の利廻
高利代も及ばざる採算年五割以上の利廻り株あり三百圓以上の投資家へは御希望に依り御說明可申上候

購買廣告

一、[illegible]　六百八碼
右購買ス詳細ハ七月二日以後ノ朝鮮總督府官報ニアリ
大正七年七月二日　光州監獄

朝鮮彙報

大正七年七月號（毎月一回）　定價二十五錢　郵税一錢五厘　△廣告料一頁金七圓　△販賣店朝鮮內地各書店

□口繪（△釜山港海陸聯絡設備の竣功[illegible]）
□稅關長に對する總督訓示
□道慈惠醫院長に對する總督訓示
□典獄に對する總督訓示
□司法官に對する總督訓示
調査及研究　○次代國民の改善[illegible]
朝鮮に於ける海運事情
地方制度　小作慣例に關する調査
共通法に就て（承前完）　國分三亥
雜錄　[illegible]
統計　[illegible]

朝鮮彙報地方號

大正七年六月號　毎月一回　[illegible]
□地稅令改正の要旨
□地主に對する希望
口繪　[illegible]

弊商會渡邊地方係當地へ臨時出張旭町二丁目東京旅館へ投宿中に付特約希望の方は七八兩日に來談せられたし

瓦斯管

合資會社南方商店　京城南大門通一丁目

チルドル製

在庫七百臺

土工用トロ車輪

朝鮮製にあらず

昨年來內地專門家と契約中の處昨今續々入荷せり日毎に五十臺づつ七百臺御注文に應ず

東京製鋼機株式會社　東亞製鋼株式會社　中根式鑛內用捲揚機製作發賣元　○印八角鋼朝鮮發賣元
朝鮮總代理店
京城南大門外　電話一〇〇四番　中根商會
京城岡崎町　電話二五六番　中根工場

勸業債券

▼改正最も樂みの組合月賦賣
六十九回　六十八回　四通組合初回四圓　次回二圓宛十八回
六十七回　六十六回　六十五回　六十九回　六通組合初回六圓　次回三圓宛十八回
十通組合初回十圓　次回より五圓宛十八回

東京市京橋區岡崎町二ノ二　日本勸業社債券部
振替口座東京二九六六〇番　電話京橋四五二番

○ミ大公宣言

露キエフ小露西亞電信局の報道に據れば、ミハエル・アレキサンドロウイツチ大公は自ら露國皇帝たるを宣言しチエクスラヴアツク軍及び哥薩克軍を率ゐ莫斯科に向け進軍中なり（アムステルダム電報）

○西伯利政府合同

哈爾賓に首都を有する東部西伯利政府とトムスクに首都を有する西部西伯利政府とは今回合併しトムスクを首都に選びたり新政府の主なる兵力は義勇兵數個兵團と士官との外チエツクスラヴアツク兵より成れり尚全軍の運動はケレンスキー氏外部より之れを指揮すと（ストツクホルム電報）

○チ軍前衛進出

東部戰況＝三日チエツク軍の前衛は戰鬪の後敵を擊退してニコリスク南方約二里半の地に進出せり過激派軍は獨逸將校シルレルの指揮する獨墺俘虜約二千砲二十門にして尚ニコリスクには目下各方面より過激派軍集合中なり（東京特電）

○トロツキー亡命說

トロツキー氏は目下浦鹽に在り米國に亡命す可しと傳へられつゝあり（哈爾賓電報）

○勞農派の脅迫

駐露米國大使は報告して曰く勞農派はアルカンゲル臨時政府役員を捕縛しヴオログダ議會議員を捕縛す可しと脅迫せり（華盛頓電報）

○露全財產國有布告

三日附露國無線電信公報に曰く露國政府は露國內に於ける重要なる總ての產業は其の全資本及び全財產を合せ悉く國有とするの布告を發せり（倫敦電報）

○芬蘭英人退去命令

芬蘭の英國人は全部退去を命ぜらる這は獨軍がコラ半島に於ける不凍港又はムルマン海岸占領の目的に依り芬蘭國內に進軍しつゝあるを隱蔽せん爲なりと解せらる（倫敦電報）

○支那物資と獨人

テーリー・メール社著二十六日發哈德補特電報に曰く東洋より獨逸の物資輸入を封鎖する爲め企てられたる輸出禁止の解除以來支那人は露國方面に向け綿布、油類、毛布、脂肪、珈琲其他獨逸に必要缺く可らざる物資を多量に輸出しつゝあり右に對し支那人側にては目下露國に於て日用品の不足に苦しみつゝある同國人を救ふの必要に依る旨を主張しつゝあれど事實前揭の物資はイルクツクを通過して獨逸人の許に達す可しと信ぜらる（倫敦電報）

○芬獨國境の獨軍

五萬の獨軍は芬蘭、獨逸の國境に集合され獨逸偵察隊は六月二十七日國境を越ゑたりと、[illegible]人の職野に百二十門進出したる友軍との交通は容易なるものある可し（芬蘭首府ヘルシングフオルス電報）

○有松長官動靜

有松拓殖局長官は七日午前八時四十分[illegible]通局長官は七日午前八時四十分[illegible]新安南地を仔細に視察し正午[illegible]民有志主催の歡迎宴に臨み同午後六時半多數の見送りを受け平壤に向ひたり（安東特電）

○澤代議士來著

澤代議士は六日夜來着七日哈爾賓へ向へり（長春特電）

○鳳凰山鐵鑛

支那秣陂關の鳳凰山鐵礦に關する日支合辦計畫が英國議會の質問となれることは既報の如く之に對する外務次官の答辯は所謂門戸開放主義との解釋上に注意を要すべき次第なるが現に角鐵礦問題に關し最近の北支那日報は大要左の如き記事を揭載し居れり蓋し之と類似の通報が在支通信員より本國に電報され其の注意を喚起し居れる次第なるべしと

鳳凰山鐵礦に對しては袁世凱の帝制時代に日本の大倉組より一百萬元を某公司に貸付けありたるに後任の農商總長は右借款契約を否認し一百萬元を返却せんとせしも大倉組は之に應ぜずして今日に至れるものなるが最近の國務會議は本問題を農商部の管理より陸軍部に移し改めて日本政府との間に二千萬元の借款契約を爲し鐵礦の採掘は支那側に於て之に當り製鋼事業を日支合辦とすると決し尚ほ殘餘の鑛石は悉く之を日本に輸出すると漢冶萍の如くならしむるとを許し之が爲日本側は大倉組をして前借款に對する權利を放棄せしむると共に新に三井大倉其他のシンヂケートを組織し既に陸軍部代表たる李純との間に調印を了し取敢ず一千萬元を前渡金として交付することゝなれりと聞く該鐵礦の產出額は他に比類なく優に五千萬噸を得べき見込なるが上硫黃分の含有少きが爲最も軍器の製造に適すべく從來農商部が容易に之を他國に許與せざりしは北の長江流域の工業發達と至大の關係あるを慮りしに由る

○米海軍豫算

[illegible]米國下院[illegible]千餘萬弗（內一億は驅逐艦以下の[illegible]）三年度即ち[illegible]年に至る三年計畫の海軍[illegible]

▲海軍擴張案

十三億除萬弗に三年計畫の第三年度[illegible]は第三年度分に屬する艦艇の建造[illegible]は遲くも明年六月末までに全部起工[illegible]め一時國內の金融界に大打擊を加[illegible]へたるも我國も亦[illegible]を禁止する[illegible]我國の金融[illegible]如何ともし難き[illegible]に至り鋼鐵よりし[illegible]は金鑛採掘をして益々誠[illegible]ぜしめつゝあり本年一月より四月[illegible]の增加は左記の[illegible]のなれば八分三厘[illegible]ものにて[illegible]は口論の後[illegible]

◎米の軍國氣分　婦人に油斷するな

米軍は今や聯合軍の主人公となるべく努力して居る西部戰場は申すに及ばず、最近は伊太利の戰線にも米軍が到著したと云ふので喜色は全伊太利に漲つた其力は更に[illegible]として壯丁の數がもう盡きようとする時現世界に比類なき壯丁を力に飽かして二百萬三百萬と云ふ大軍を急ぎつゝあるのであ[illegible]は米國の◇[illegible]者なし◇理からぬことで聯合軍が敵をは來るべき[illegible]容易に行[illegible]同盟[illegible]◇聯合[illegible]◇軍隊ほど[illegible]とするのも決して[illegible]云はねばならぬ[illegible]悟伏し得る唯一の[illegible]米軍の外には何も[illegible]問題もどうやら今[illegible]はれぬやうである所獎や其他の危機が再々傳へられて今にも同國の瓦解を來すが如く傳へらるゝに拘らず何時も火の消えたやうになつてゆく、されば聯合軍としても此等賴み難い問題を目標として戰場に守勢のみを維持して行くことは不可能事に屬す佛英軍が明かるれば退いて守り[illegible]強く戰線に固著せんとする所以のものは米軍の到著と云ふ以外には何もない。米軍は◇今や世界の運命を左右◇せんとする力ある主人公◇となつた。而して曾て軍國主義や專制政治を蛇蝎視した、米國は今や最大なる軍國主義の國と化し去らんとして居る世界になき大組織の官設や大規模の官立軍機工廠や鐵道の國官有や有らゆることは政府の事業となり、武裝なき自由の合衆國は今や獨逸の如き武裝國に變化しつゝある而も一切の專制的機能は大統領の一手に歸した今や◇ウイルソン大統領は一の◇大專制君主たる觀がある◇見よ米軍人に對して軍機漏洩を防ぐ爲めの訓示は自由なる思想國に見られぬものであつた。

一、汝等は其家族は勿論、如何なる者と交際するも、決して自制を忘れ、軍機を口外するな。特に婦人には信を置いてならぬ。婦人は最も狡猾なる探偵で婦人を輕信するは一身を敵の手に委ぬるものだと心得よ。

一、軍事上の質問をなし、多くの趣味を有する如き者を信ずるな斯くの如きものは、假令米國の將校であつても、注意しなくてはならぬ

一、男女子供、若しくは米國の軍裝を采用し、或は聯合國の軍服を着けた者と雖も探偵なりと思へ、故に之等に對して口外すべからざるとは、決して言うてはならぬ。又未だ十分知らぬ人と交通することを禁ずる。

一、街路に於て、公共の場所に於て、壁に耳あり、石に目あることを忘るるな、故に如何なる軍事上の問題であつても口外することを勿れ、且つ一般戰況に關して意見がましきことを言ふな

一、戰局に關して言語又は行動に於て悲觀的印象を現はすことを禁ずると同時に、唯々我軍の成功に就いて深く確信して居ればそれで宜い。

此れは米國に於ける軍國的氣分を示したものである。婦人を貴ぶ歐米に於て◇婦人に對して斯く露骨な◇言葉が發せられたるは珍らしい事である。一面に於ては戰爭に依つて米國は、形に於て思想に於て著しく專制的に傾きつゝあることを示すものである。然り聯合軍の主人公となる爲に又獨逸國を向ふに廻して爭ふ第一人者として米國の力を現はすには如何なることでも行はねばならぬ。國を擧げての戰ひには或程度まで專制でなくてはならぬと、自由民主國の米國が專制化したことになる。斯くして◇米國は今や既に百萬の大◇軍を歐洲戰場に送り得た◇專制的氣勢を擧つて更に三百萬五百萬の大軍を募らんとして居る。米國が曾て白佛の野に三四百萬の軍を上陸させ英軍や佛軍を指揮し自ら主人公として橫暴なる態度の前に立つ時は何時であらう。蓋し遠い將來ではなからう、但し軍器と兵の素質とを充實させるには少し時間を要するであらう。

◎哈爾賓財況　金融至て緩漫

船腹不足と沿線の滯貨に苦しめる滿鐵は東淸聯絡貨物の輸送に稍困難を感じ六月末に及んでは全く之を受理せざるに至れり浦鹽向輸送の不振亦五月に溯らざるのみならず六月中旬ニコリスクに開かれし過激派大會にて烏蘇里線を東淸の管理より分離する事を決議するやセミヨノフの友軍オルロフ軍の西部進出となり哈浦兩埠間の交通は全然杜絕し了れり、輸送の狀態既に此の如くなるを以て輸出界の不振は言ふを俟たざるべく特に最近に於ては操業の如何を論ぜず輸出の手段全く絕ゑたること寧ろ斯界の慘事と言ふべし從つて此の方面に於ける金融は甚だ緩漫なりき輸入の方面を觀るに滯貨の下に廻は未だ以て昨年來の掛荷を一掃するの程度に達せず滿洲里の通關開始は唯セミヨノフ軍に軍需品を供給するの目的に出で露領內の市場を開放せしにあらず唯々松花江の航行が其の後富克錦に及び往航には麥粉、砂糖其の他の雜貨を送り復航には江岸の大豆を載せて積頓に上下し總分斯界を潤すと雖も黑龍江の本流に入りブラゴエチエンスク黑河に達するにあらざれば未だ以て久しく沈滯せる輸入界の大勢を動かすに足らざれば此の方面に於ても亦金融は閑散の域を脫せざりき（朝鮮銀行調査）

◎正米市場新設　議大に進む

京城に於ける有力正米業者の渡鮮せし正米取引市場は最近議大に進み七月末までに創立總會を開催し市場規約の發表をなすべしとの事なるが仄聞する所によれば市場の組合員は京城及びその附近の內鮮同業者とし目下夫々手配りの上勸誘中の由にて多分百名內外を包容すべく規約は各地の良を採り全鮮の模範市場たらしめんとの意氣込にて出來し居れり又市場の所在地は南米倉町齋藤久太郎氏の所有建物を以て充つる事に略決定又先物取引は輸入品乃ち滿洲粟豆粕等の外之れを行はざる事に衆議一決せり尤も當局の意向は絕對に先物取引を許可せずと云ふにはあらざる由なれど現在に於て多少弊害の伴なふ取引は市場に於て此際遠慮せんとするもの、如し

◎小包値上問題　某當局者談

小包料金の値上は目下遞信省にて調査中なる如くその値上理由を說くに當用增加不引合に當けるに似たり實際目下の如く遞送料郵便局遞送人給の增加に伴ひては今日の小包料金は甚だ廉にして寧ろ損失に歸しつゝあるに付その引上は當然なるべき乎、從つて朝鮮の小包料金引上は如何と曰ふに未だ何等考慮を費し居らず然れども內地の引上が實現せば朝鮮も引上の外なかるべしと思惟す蓋し朝鮮の小包は[illegible]倒的の土地に仕向けられ然も個數が甚だ多く現行の如き安價の料金にては遞信局の損失多しと事實內地遞信省の小包遞送により受けつゝある損失より朝鮮遞信局の損失は率に於て多かるべく早晚値上は何等かの形式により出で來らん唯內鮮間の小包料金は現行の必らずしも低廉ならざるに付その引上の必要は先づ少なかるべし

◎京畿麥刈取狀況

京畿道管內に於ける麥刈取狀況を聞くに最近の霖雨ありたる爲め農家一般に播秧に繁忙を極め大麥の刈取を稍閑却せるやの感なきにあらざるも來る十日頃迄には全部の刈取を終了すべく又小麥も本月末には刈取を了するに至るべしと

◎道係主任々命

京畿道水道係主任藤澤完氏は水原郡守に同庶務係主任大塚浩氏は公州郡守に轉出何れも榮轉を命ぜられたるを以て道事務官杉山武夫氏水道係主任に同屬[illegible]虎氏庶務主任に二日附を以て任命されたり

◎加藤社長披露宴

加藤本社長は七日午後七時より朝鮮ホテルに新任披露の宴を張れるが出席者は官民有力者五十餘名阿部前社長の紹介にて加藤社長の挨拶あり次いで來賓總代[illegible]の[illegible]あり一同乾盃撤宴後別室に於て歡談ありて九時半散會せり

◎木浦電燈値上問題

木浦電燈會社にてはその用炭の價格非常に暴騰し噸十七八圓の高値に契約せざる可らざるに至れると其の發電機械が稍舊式に屬し不良炭を使用する爲め多量に上るを以て過般來當局に料金値上の內申をなし居りしが認可さるべき內容なるを以て更に本申請書を提出し來れり

◎聯合國國際通商會議　聯合國通商聯盟組織されん

聯合國際通商會議は二日午前ウエストミンスター宮殿にて開催され英、佛、米、伊、白、希、日、支、葡萄牙各代表者出席せり協議の主題は世界の商業界に覇を稱へんとする獨逸の不正なる方法に關聯せり藏相ボナー・ロー氏は一場の演說を試み各委員に歡迎の辭を述べたり、同會議は滿場一致を以て協商國政府は投賣り謀計を以て世界の通商を壟斷せんとする獨逸の陰謀に對し對策を講じ聯合國通商聯盟を組織せん事を提唱したり（倫敦電報）

內地人郡守（六）

（全州）藤谷作次郎氏

氏は舊平戶藩士で明治十三年生れ當年取つて卅九歲の働き盛り前途に富める穩健な良吏として頗る官民の信望を持つて居る氏が初めて◆朝鮮に來往したのは明治卅九年の統監時代に韓國政府の聘に應じ財政顧問附に命ぜられ度支部に轉じ其後派せられて平壤監督局に勤め再び轉じて全州に入り財務監督局時代より全羅北道財務主任を經て[illegible]事務官に[illegible]◆引續き道稅務主任勸業主任を經て這回選ばれて全州郡守に任ぜられたのである近頃の氏の人格は益々圓熟したる感じがして接する者の間に快感を深うさせられた氏を◆寓居に訪へば同じく晴ひ[illegible]ある大分諸氏の援助を得て大過な[illegible]を知したし殊に郡廳の如きは多くの史[illegible]を有する役所にては純なる術が必要であらうが余の如き◆菲才の斷る難しとする所であつて全く其の器でないと謙遜の、君が經歷の一端を窺ふのみに止めて辭去したり（全州）

三閑百種

朝鮮には大分縁故の深い新陸軍大將の長谷川[illegible]元次郎將軍が過般東上の際列車中の食堂で日本酒を注文し日本酒當に日本酒でチビリチビリやつて居ると▲や一つ遣入て來た一人の知人は將軍の側に腰を卸した話相手がなくて淋しかつた將軍も談相手を得て頻に盃を傾けて居たが▲『日本の汽車は日本人が乘るに毛唐本位だから實に不愉快だ日本酒の一つもうまく飮まれぬのには困る▲汽車に限らず新聞記者達でも能く欲するめに冷酒でも出るかと思つて居ると連日の洋食攻めだ全く日本の氣は些とも無い』▲と彼の大きな聲らしいが[illegible]眼を[illegible]內[illegible]眺めつゝチビリチビリとやる▲所次するとボーイと間抜けの大きな聲で呼びボーイがやることつことを[illegible]拵へた▲『君は先刻向ふの客に[illegible]だが[illegible]云つたやうだつたがなうかと訊いた▲ボーイが[illegible]へると[illegible]した▲向ひ側では四五人の西洋人が麥酒を呷りシガーを吹かしつゝ傍若無人の[illegible]▲將軍をつと見やつて『彼れは何だ』と云ふボーイは[illegible]に[illegible]西洋人は[illegible]

▲稻垣諸氏（滿鐵社員）七日夜入京朝鮮ホテルへ

▲牧野鶴平氏（東京鐵工業[illegible]）同日城館へ

▲小川得玄氏（全南明[illegible]鐵工業所長）七日退京

▲化粧品觀察團一行 七日退京

◎土木建築協會々報 六月初號は都合上廿日發行せるも今後毎月十五日定期發行さるべしと

日鮮會話精通

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著

諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む

凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書を繙きて知る事を得べし

眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して坐讀あらむ事を祈る

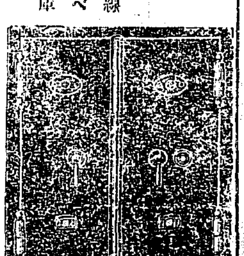
袖珍總クロース頒美本◎七百餘頁◎定價一圓三十錢

發行 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部

販賣 京城本町二丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 嚴松堂

堅牢

にして尙外觀に備へ美を有する我が內ペント金庫は東洋金庫界の權威なり



京城本町 熊平支店 電話 長一六一 二 五四 番

中元御贈答品

發賣元 藤製藥合資會社

徵兵保險株式會社

契約高金五千參拾萬四千五百圓 件數弐拾九萬五千九百五拾六件 諸積立金壹千萬百七拾餘萬圓

總裁 男爵 小澤武雄
專務取締役 太田清藏
取締役 陸軍少將 伊豆凡夫
顧問 陸軍大將 男爵 鮫島重雄
同 陸軍中將 男爵 西島助義

本社ハ從來鮮滿兩地ヲ四國出張所ノ管區ニ附屬セシメアリシモ爾來被保險者非常ニ多數トナリ茲ニ鮮滿ヲ獨立管區トスルノ必要ヲ認メ今回京城出張所ヲ新設シ大ニ契約者ノ便宜ヲ謀リ諸事敏速ニ處理可致候 追テ京城龍山兩代理店ハ此際廢シ該事務ハ京城出張所ニテ取扱可致候

◎有給社員數名採用 （希望者ハ京城出張所ニ申込マレタシ）（任地鮮滿支那各地）

東京市京橋區新肴町十九番地 徵兵保險株式會社
朝鮮京城府本町四丁目百三十二番地 京城出張所長 吉岡薰英
滿鮮外交主任 幹事 坂口祐一

專賣特許 宮崎式ペーチカ 說明書送呈

ペーチカ築設專門 龍山 羅南 大連 成興 奉天 平壤 宮崎組

御先祖のお祭りは私共のつとめで佛樣は信ずる者をお救ひ下されます

各宗本山御用達 佛具調進所 小倉治三郎商店 京城本町貳丁目 電話二五七二番 振替二九五一番

銚子港 田中玄蕃釀造 ヒゲタ醬油

京城明治町一丁目 代理店 櫻正宗發賣元 山邑京城支店 電話八四九番 振替貯金京城七五番

眼鏡專門

△弊堂特色 レンズ精撰 技術精巧 品位確實 價格低廉 親切勉强 （詳細定價表發行す）

京城南大門通二丁目三二番地 宮川大學堂 電話二九五九番 振替京城壹貳九番 （眼鏡製造工場子弟入用）

醫療化學諸器械一式

仁川本町 北島藥店
京城本町永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番 電話一三四・振替京城六七番

藥種賣藥卸商

資本金壹千萬圓 頭取 安田善三郎 京城本町壹丁目 株式會社百三十銀行京城支店 電話五八番 振替貯金京城一九四番 一二三番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は內地各方面並朝鮮樞要の地に有

◆十億餘萬弗 …一昨日迄に下院を通過せる前記…に二億三…さりしを以て下院を通過せる前記…し討議四時間にして…昨秋米國が金の輸出を禁止せし爲

◆金産額漸減 …地金の價格騰貴の…然るに我國の金鑛は…は既に前年間より大正五年の同期よる能はざるべし

東京大相撲 ―千秋樂―

◇鳳千葉ヶ崎一行の東京大相撲の千秋樂たる七日は朝より快晴の上に日曜なりしこと、て入場者頗る多く午後には大入滿員の盛況を呈し場内は活氣に滿ち鳳千葉ヶ崎の結び相撲にて鳳の勝ち鶴ヶ牛田川の弓取りの式ありて千秋樂こなりたるが當日の主なる勝負手捌き左の如し

勝　　　　負
黒　潮　　松ヶ島
沖ノ石　　藤ノ谷
峰ノ越　　泉　潟
千葉ノ音　妙高山
甲　州　　一ノ島
九紋龍　　千田川
稲知山　　奥州山
眞砂岩　　石ヶ濱
後ノ山　　土崎
小田ノ山　大淀
能代潟　　若葉山
玉ノ川　　伊達錦

▲中入後
白岩　突き放し　鶴ノ海
大戸平　押し出し　小牛田山
大三役　寄切り　琴ヶ浦
　　　　寄り倒し　藤ノ川
鳳　島上手投　三杉磯
潮　吊り出し　千葉ヶ崎
▲本社お好み飛つき五人抜き
錦　青　葉　山

右の内▲鶴ノ海に白岩は立ち上るや烈しく突張り白の左を引外すや突き放して勝▲小牛田山に大岬は立ち上るや小牛田左を差して吊上げ取りを呻り上げ小牛田更に投げ…て勝▲大戸平に琴ヶ浦は琴の左を差して寄るを大戸同じく左を差して寄り進み一氣に寄切つて勝▲錦島に藤ノ川は立ち上るや右四ツ寄るを藤残して廻り込むを錦が打つたる上手投美事に極まつて勝は鳴栄▲大潮に三杉磯は立ち上るや右四ツ三杉寄るを大潮残しつゝ外掛けを打つて寄るを大潮残しつゝ外掛けに浴びせ倒して大潮の勝にて本社より京城興行中の優勝者へ贈るべき銀盃は大潮の手に落ちたり▲鳳に千葉ヶ崎は立ち上るやパツタリ右四ツ千葉再三吊るを鳳よく残して防ぎ水こなり水入後千葉再々吊らんとして腰の浮くところを右上手より吊り上げ千葉が外掛けに防ぐをそのまゝ吊り出して鳳の勝

◇優勝力士大潮に銀盃を贈る

相撲雜觀 満員の好人氣

午後より入場者引も切らず瞬く間に滿員の盛況を呈するに至りたり幕下土俵入後本社好み飛付五人抜きは青葉山再び勝ち中入後何れも好取組の事こて滿場熱狂し殊にびすしく就中大戸平琴ヶ浦及び三役の取組は別項手捌きの如く何れも大相撲こなり牛田川の弓取りにて午後六時打出したり

▲銀盃大潮へ

贈呈の如く本社にては京城興行中の優勝力士に對し美麗なる銀杯一個を懸賞したるが大潮遂に三杉磯を倒して六日間の勝星こなり銀杯を贈られたり

▲元山に向ふ

七日京城を打上げたる鳳千葉ヶ崎の一行は八日午前七時十分京城發元山に向ひ九日より十日まで二日間興行をなし十一日仁川に引返して十二日より二日間興行をなしたる上鎭二浦に向ふ筈

河南省水害

河南省に大雨あり開封府以東五十支里の地に於て隴海鐵道の橋梁數箇所を押流され復舊工事に三十日を要す可し（漢口電報）

三十五年前の罪を自白

明治十七年十月三十一日埼玉縣秩父郡白鳥村字風布に貧民蜂起し民家に闖入し金品を奪ひ人を斬つて放火し暴動を働きし秩父事件の首魁井上傳藏は三十五年間行方不明なりしが六十五歳にて去月二十三日北海道北見國常呂郡野付牛村にて死去せるが臨終の際に前記の罪状を自白したりと（東京特電）

◇塔洞公園に於ける歡迎送別俳句會

十一日より風流なるバコダ公園青木堂の一室に於て催されたる尾に冷たき湯突の一室に巨城の馬に大地の『俳諧めや』バコダ公園青木堂に懸けたる前に會せるものは…一の賞句ある軸を…諸氏、白岳に夏雲子、雄川、鄭、月池の諸氏、鳥堂、虎耳…去來するを眺めつゝ、送別句及び『青嵐』を課して作句、記念の撮影を爲し、披露して了へて互選の結果を發表したり、北川無佛居士記念の句幸あり、俳談に花の盛を呈し午後二時散會したるが近來稀なる清遊なりき

關西の雷雨

京都府下にては六日夜半大雷雨あり一帯点阪線八幡橋本間不通こなり八幡町の電話通せず被害多し大阪にては三島郡部に大雷雨ありたり（大阪特電）

鳳山丸 無線電信局長拘引さる

六日午後六時舞鶴軍港に入港中なる鳳山丸無線電信局長渡井貞雄（三一）は舞鶴警察分署に拘引され舞鶴海軍法務官佐藤主理、舞鶴區裁判所軍田檢事等の取調べを受け次いで武村船長高橋事務長以下船員及び舞鶴海軍無線電信所主任山本上等兵曹等も召喚取調を受け渡井は午後十時舞鶴水署に護送されたるが事件の内容は渡井が無線電信を亂用し軍機の浦鹽擾亂に際し軍機の機密を漏洩したりとも又は價額の變動の際無線電信を利用し奇利を計らんとしたるものなりとも傳へらる（舞鶴電報）

無佛句筵 送別

小塚無佛氏は城津千等の發起にて近く歸東す可き無佛前本社長の送別…

石灰の火事

六日夜九時長春滿鐵貨物ホーム石灰小屋より出火石灰三百二十四個及雨覆其他雜品燒失同十時半鎭火せり（長春特電）

近郊の納涼地 鷺梁津鳳山遊園

新たに出來た櫻の名所鷺梁津の鳳山遊園は昨今は又納涼の人々で毎夜の如く大賑ひ傾斜のゆるやかなダラダラ坂を上つて山頂に起つと帶の樣な漢江はツイ眼の下、遙か彼方には南山北嶽か夕靄にほかされて新龍山の燈火が恰度螢火のやうに浮いてゐる畫のやうな云ふが是は叉繪にも描けないほどの美景である加之に漢江を渡つて來る風の涼しいこと!!宛ら氷の中にでも坐つてゐるやうで納涼には持つて來いの場所であるこの春植ゑた園内の櫻は今や青々こ几ひ繁つて一しほの涼味を添へてゐるが四阿と云ふ四阿の軒から軒へ美しい岐阜提灯を吊るして灯を入れたのも亦頗る所納適はしい點景の一つである

動物園の人氣者 〔獅子〕 ◆獸仲間の王樣 一週に一度兎の御馳走

◆何んと云つても獅子は昌慶苑第一の人氣者、虎のやうに美しい毛並も持たず象のやうに巨きくもないが、何處となく雄々しい威嚴を備へ…『百獸の王』には申分のない役者…◆今の獅子…は何うであるか…雌雄二頭の獅子は、先日仔を生んだ獅子の第一回の仔で大正四年の秋昌慶苑で生れたのであるが、早いもので最う親よりも大きくなつてゐる、親獅子は開苑と同時に京都動物園から來たのだ相なが『獅ものは何故組は阿那利加なんです』とは係の人の話し◆阿那利加は御承知の通り熱い國…この夏が來ると一層の元氣で『是からは乃公の天下だ』と云はぬばかりに狹い檻の中で威張り散らす

◆獅子は生れたばかりの赤坊の時は…

試に…生後…の中に仔生れた…一尺の距離もないから先日生れた赤ン坊は窓の上から突き落されるやうな…をふることだけは…

◆獅子は肉食動物であるから餌に掛る金がかゝる、昌慶苑では朝夕二回一度に對して五百目宛の牛肉を與へてゐるが、一週に一度木曜日には生きた兎の御馳走をする、斯んな猛獸には時々生血を飮ませぬと元氣がなくなるからだ相な◆此の御馳走を與へる時…生きた兎を…獅子の…は是非…ら此時だけは本當に猛獸の本性を發揮するやうに思はれる◆…先日生れた仔は…頭でかいが…大抵一腹に二頭宛…合好く雌雄を生むこは…不とは雌ばかり生むやうなことは滅多にない相な…價は…は…八千圓以上一萬圓の値打はあると云ふ

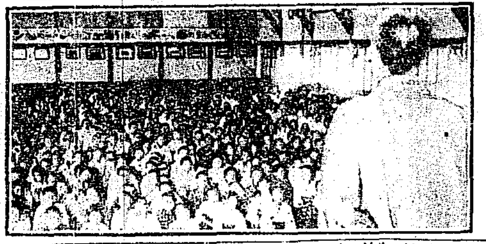
チエツク 流れ流れて浦鹽で成功

ボヘミヤの荒地に生れたチエツクは…本國を失ひ…北滿より歸來せる非襲中佐は語る…この種浦鹽の過激派を追散らして居るチエツク軍一萬五千は…白二色の西伯利亞政府の旗を立てゝ…彼等は獨逸こ奧太利の間へ…の地に生れ種族の異なる爲めに…

▼▲虐待 されて居た仇怨の氣は幾年經つても晴るゝの日なく獨墺國旗の下に露軍こ砲火相見ゆる心なき苦鬪をなすべくも非ずこて遂に露軍に投じて幾多重なる墺太利軍を脱せしめて…利益は少くも太平洋を越えて西伯利亞鐵道に露軍の援助に送りしも…

▼▲世界 を一週して再び西部より墺軍を苦しめ果さんものこ決心は昔より戰く露獨を排して極東浦鹽に到着して行き掛の駄賃なりかせたる次第なるが彼等は其一部この獨墺に親近せる過激派に一泡吹かせたる次第なるが彼等は其一部丈け武裝して居て大部は武裝なき丸腰なるを各聯合國より武器を與へて之を操縦しようこする模樣あり尚チエツクの

▼▲獨立 運動中心は佛國西に…



七夕祭りの京日お伽講演會

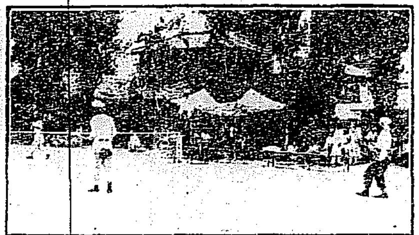
少女達の年中行事の桃のお節句こ共に喜ばれる七夕祭りの七日は折柄日曜日で朝から好い天候であつた、豫報の如く我社第五回お伽講演會は山本校長外諸先生の御配慮でこの日午前十時から新龍山小學校に開かれたが、元町小學校の生徒も會して定刻前に場に滿ち山本校長の開會の辭に次いで八時頃から…の後援があつて面白いお伽噺を了へたのは十二時であつた、山本校長は再び立つて鄭重なる挨拶をせられ、また會の途中… 年ら三々伍々家路に着いたが、午前の會であつたのに參者の多數であつたのは新龍山諸先生の御配意に依るものこ感謝して置く

▲安協 を試みて復成らず夫より北京に來りて各國公使間に運動したるも之も相手にせられず遂に浦鹽に流れ込んだのが今回成功の非なりこ

あれたるが移動して今日にては米國にありこ云ふ其チエツクの相棒こして西伯利亞政府の總理大臣こなれるデルベルは猶太人にして舊年十一月西伯利亞獨立を計りて成らずハルビンに來りて同地の反過激派こ…

運動界 滿鐵コート開き

明治町元滿鐵商業學校跡に開設中の滿鐵テニスコートは此程竣工せしに依り七日午前十時より同コートに於てコート開きを擧行されたり當日はコート開きを盛ならしむる爲めに三井、京城、ポプラ、其他在京各選手出場して數番の試合あり盛大なりき



昨日の暑さ

七日は朝來非常なる暑熱を感ぜしが京城測候所に就て聞くに同日正午の最高温度は攝氏三十一度（華氏八十八度）なりこ

雨と病氣

◎衣服こ食物に注意せよ◎この頃のやうに雨降りが續くこきにはさまざまの病氣が起り易い先づ感冒腸加答兒大腸加答兒肋膜の初期、肺結核の初期等の患者が多し…々現はれるが是等の突患は寒暑に類似した症状があるので醫師も…

血清反應

或は黴菌の試驗を行はなければ解らぬ程である又脚氣患者も殖ゑ寒扶斯も流行して來る子供の病氣こしては所謂蘇熱が却々多い之は蛔蟲が腹の中で悪戯をするので其症状は皮膚に發疹するものや戲の痒がるものや或は

炭や草…

…を喰べたがるもある際して時には下痢をして不定に熱を起す、之に對する豫防法こしては夜寢る時には寢衣を良く纏ひ子供には胸掛け腹卷をさせてやる叉食物は魚鳥牛等の生肉は直ぐ腐敗し易いから…

腐敗毒素

…が生ずるから餘程新鮮の物でないこ喰べぬやうにする、又蠅も蛋白質を多量に含むから…の腐敗物を早いのである野菜は比較的腐敗するのが遲いが調理して直ぐ喰べるが安全である前夜煮た物を翌朝又翌晩まで殘すは頗る危險こいはねばならぬ殊に朝に喰べたものは夕方までに喰べて了ふ樣にするが必要である（某醫學士談）

職業
日韓專賣特許輸出品原紙竹細工… 上田籠本店

中風病
余が家は祖父及び父この三代…中風病にて困難したる遺傳系統… 加古忠兵衞

最新刊
名著 定價
玉戸三一石橋著 定價一圓八十錢
珠算精義
朝鮮法規提要 定價三圓五十錢
株式會社會計
西洋通史 定價七十錢
實力養成法
▲西伯利亞號
大阪屋號

原産地大根種子 成田留三郎
加平出張所
京日案内
牛乳配達 平山牧塲
社員採用
▲内地人女子募集 總督府印刷所
測量製圖 齊藤商店
店員入用
年金恩給 江州屋本店
名灸
中古ミシン買入 楠商店

連日滿員
朝鮮最初の試 大成功 キネオラマ連鎖
船長の妻
百萬弗の秘密
連續大寫眞
火玉長屋
黄金館

花柳病專門
外科
司生堂醫院 電話三〇六五番

寫眞
京日寫眞製版部

新荷著

懷中時計
▲印はラヂューム入
ツクレツレン商會 本店京城本町二丁目

最新流行 新荷到著
ムキワラ帽子 金五十五錢より金四圓迄
パナマ帽子 金一圓廿錢より金五圓廿錢迄
▲烏打帽子 共布
京城日報代理部

内科 小兒科
呼吸器病 胃腸病喘息 リユマチス
山田病院 院主 山田萬作

山田耳鼻咽喉科
稲田齒科醫院

滿天下の賞讃を博したる人蔘エキス

朝鮮高麗人蔘直取引貿易商
津村兄弟商會本店
津村兄弟商會支店
大邱支店
山岸天佑堂
木村藥舖
北島藥舖

品質優良藥効の顯著なる人蔘エキス

妻の心（三十二）

六の三　小林蹴月作　武内桂舟畫

『奥樣餘り突然のお訊ねで、妾、何とお答へして宜しいのか、分りかねますで御座いますが……』と若龍は、故意とらしく打笑んで、盃をぐいと飲み干し、輕く濺いでそれを神子に返した。神子は、義理からのやうに受けては見たものゝ、持ちあぐんで膝と下に置きつゝ、

『本統に飾りのないお話をお聞きしたいんですの。妾などの口からは申す事ではありませんけれども、御商賣柄の方にはあの、お金のお客さまと、此の人ならばと思ひつめて、何なさるお客さまと、二通りあると云ふ事を、能く小說や何かで拜見して居りますもんですから、それでつひ無遠慮なお訊ねを爲て見る氣になつたんで御座いますが……若龍さん、本統に若しやも貴女が、町川のやうな醉漢の無責任な男でも、末始終什うだこか斯うだこか、思つて居て下さる思召しが御座いますのならば、失禮では御座いますが、妾、少しばかり考へこ在ります事が御座いますんですから、腹藏のない所を聞かして頂きたいんで御座います。』

『困つちまいますわね、妾、本統……に』

若龍の困つて居るのは、道理至極で、町川の事を下手にわるく云へば、今までのすべてが、只金の爲めの客筋だと云はれるであらうし、赤心からの客だと云つたら、本妻たる神子の心持として、此の女ゆゑに良人の不仕鮮を招いた大怨敵と見做されて了ふのが、當然の結果である。而已ならず、神子が一體、女だてらに這んな所まで出て來て自分に這んな事を聞き糺すと云ふのが甚だ以て合點のゆかぬ行爲なのである。若龍は、思案に迷つた。這麼時には、寧その事酒でも思ふさま呷つて、江戸前藝妓の大氣勢でも示してやるのが、結句大勝利かも知れぬとも思つたとは云へ、腹の中では、まだ何方が何方と極つた譯でもない。

『もし、若龍さん、露骨過ぎたお訊ねですから、お返事にお困りなさるのも、さらさら御無理は御座いませんけれども、妾が梢を拜して這麼場所まで出て參りますのには、よくよくの事があればこそで御座います。打明けたお話が、三千や四千のお金には換へがたい苦い切ない事情があつての事で御座いますから、貴女が若し、武智町川の世話を燒いてやらうと云ふ思召しがおありの譯で御座いますなら、明日こは申さず、今晩にでも、妾が貴女のお身體をお引受けして、末々長く姉とも妹とも存じて頂きたいと思ふんですが、女、そんな事を御承知して下さる事は、お厭でせうね』

生來餘り口上手でもない神子が初對面の若龍に對つて、是丈の事を云ふには、可なり度胸を定めての上でなければならぬ事は、知れきつた話である。

『まあ、勿體ない事を仰せ下さいますな。そのお詞だけでも、妾はもう有がた涙が溢れますで御座いますが……地體まあ、奥樣には什うしてその樣に委しく、妾と町川さんとの關係を御存じなんで御座いますか。それから先へ承はりません事には、什うも妾には確たるお返答が致しかねますので……』

『ほゝほ、それはもう貴女と良人とで、森ヶ崎へ行つてお花の事から何から、新聞なぞでも見て居りましたし、それに實は、彼の時の事が家庭内の一問題となりまして、此の十日間ほどは殆然親族會議の開き詰めと云ふやうなお恥かしい有樣なんで御座います。』と、神子は、なせまじとすれど、例の熱い涙が自然に眼の中を濕す。

それでこそ、町川さんが妾を見棄てなかつたのであると、若龍は若龍で、私かに獨り合點。吹き上ぐる川風と共に談は、漸く身に沁みわたつて來る。

銃 修繕 多年の經驗と完全設備 玉井銃工場 龍山元町二 電龍五三八

朝鮮成歡牧場 病院御用 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

日報俳壇

春季雜詠　空一選

耕しの晩歸に冷ゆる素足哉　同
納屋廣に麥搗く音も日永哉　同
門毎に杏の咲ける宿場かな　同
普請小屋に倚植替や春遲ぶ　同
泄のヒタヒタ寄すや春の泥　同
夕日濁る松原上手や歸る雁　同
雁風呂の煙に暮るゝ漁村哉　同
雁風呂の火舌に動く小島哉　同
出夫艦の花に親しむ給筆哉　同
蝶や船繋ぎある橋の杭　同
寄宿舍は校歌に暮れて針供養　同
芹摘める咫尺に遊ぶ暢かな　同
工事場に濡れし木屑や春の霜　三苑雨
海棠の雨に囀る小鳥かな　同
築地山の赤き夕日や鳴く雉子　同
街道に下さる牛皮や陽炎へる　同
一村の蛙啼き鳴らす雉子かな　同
積藁を啄む鶏や殘る雪　楚川
街道は歯振け家並や殘る雪　同
岡ひ船の苫に光るや殘る雪　同
潮落ちて白き干潟や風光る　同
薪割りす日晴れけり春の霜　同
納屋犬の寢そべり吠ゆる餘寒かな　同

麥　

麥を刈る背に日高き洲かな　雅城
麥刈るや大畑草入畦に置く　同
刈り伏せし麥に山もの雲影る　迦南
麥打つさざめき過ぐる夜釣人　水子
縁に話す平眼の禰宜や麥埃　昼黄子

□涼夜吟（其の十）

文藝界

▲大藝術伯展覽會　七日は日曜の事とて觀覽者非常に多く、豫約の赤札多かりしと、尚八日も開催さるべし
▲指定畫伯展覽會　非常の盛況にて七日閉會したるが同氏は眞面目なる觀覽者の多かりしことを繰返し喜び居たりと、尚『海近き村』は傑作なりとの評高し

人 尼 頭　三吉選

醉うて寢て
醒めて水飲む臺所
おさんの顏の發展物
母が手を引く就學堂
今日棟上げの餅ばらき
爲九天に輪を描く
これがヌミスの飛行振り
お珍らしいと詫遊り
挨拶すれば女房なり
それなら僕が會つてやら
こちらへ通せと横柄に
大道の賣藥
師のいばらに引かゝれ
持てたし〳〵さ吳天狗
まさか海には來られまい
電話でそつと御返事を
聯組樣に初花が
咲いて陽氣な極樂寺
こいの和角も秋ふ知り
熱は女を狩り集め
獲物は跡子に虎さ狼
問ひ卯辰巳午未
まう支にまして子丑ます
されば北さ云ふて吳れ
はい鮫鱈げ鮎鯛よ
松の座敷に案内せよ
搜索する蛇檢判事
西九州に大纏臺
かけて天下の頭株
商事會社の領者となり
本減じては首を縊り
眞似でだましたすごい腕
禁酒したのを破らせた

新刊紹介（到着順）

▲實業之日本（七月號）新渡戸博士の卑屈心浮田博士の部下の心服を得る主人、増田社長の國民への大警告、日本郵船會社、南米に於る有利事業の經營法、戰時の富豪山下龜三郎氏の人物批判其他諸有益記事多數 二十一錢 東京京橋
▲婦人世界（七月號）村井弦齋氏新發見の人體に有益なる新食物、高木、宮路、大澤三博士の婦人の問題改善問題下田女史の三年間米國を守りし新妻、倉橋文學士の妙領は果して妻が子供の爲に女中を廢して雇非を新築せる苦心談其他夏季に於ける婦人の服裝術生田男家家庭問題趣味娛樂記事等小杉天外作『靈驗果』の第一號より掲載せる悟要小說家庭實話一等あり、實業之日本社）
▲娛樂世界（前號續）講談落語は勿論雜錄に至る迄珍らしきもの撰び其滑稽の妙讀者の頤を解く可く初夏の讀物として絶好なり（二十八錢、東京日本橋區スキヤ町北社）
▲考へ方（七月號）二十一錢東京神田北神保町一三考方研究社
▲商と工（六月號）二十五錢東京々橋新肴町一二北社
▲鐵道青年（十の六）五錢東京神田表猿樂町十鐵道青年會本部
▲東洋皮革新誌（一六三）十錢大阪東區內淡路町二の七七北社
▲報德（八の六）六錢鹿兒島市山下町三九五鹿兒島市報德會事務所
▲新商工（一の四）十五錢東京小石川區白山下北社
▲長春貿易協會月報（一七）三十錢長春東十八區二號地長春貿易協會
▲東洋醫界（四號）二十錢東京赤坂氷川町七北社
▲教育時論（一一九五）十錢東京麴町區飯田町四開發社
▲極東時報（六四）十八錢東京麴町區內幸町一の五北社
▲青島商報（一の六）二十錢青島平度町六青島御商組合事務所
▲アリンター（四の三）印刷雜誌東京京橋金六町五山本商店
▲電氣俱報（一四二）五錢大阪北區若松町二八電界社
▲一大帝國（三の七）二十五錢東京芝琴平町二北社
▲日本魂（七月號）二十錢東京々橋三十間堀三の七北社
▲世界公論（大正細明號）二十五錢東京小石川大塚辻町二四北社
▲工業評論（四の六）二十五錢大阪東區常盤町一北社
▲東洋時報（二三七）五十錢東京麴町區內山下町一の一東洋協會

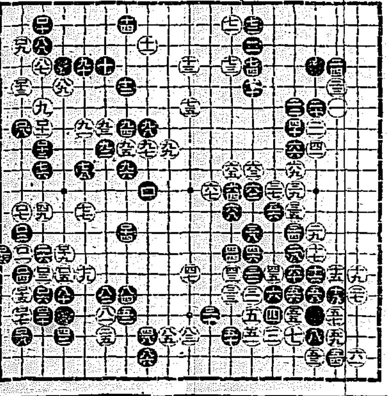
京城明治町一丁目
入院隨意 胃腸病院
電話一六五九番
院主 佐々木杏造

▲何錢は〜茶かへ何ふにけ種々の方法もありましようが私の經驗に依れば湖評が最も好いのです、焼小瓶一匁に對し燒ハヤ二分の割にし其に野菜若しくはハコベを混じて摺るとなしまず又同樣の法で燒ハヤを三分の割に混ぜる事もあり

碁戰（六）

（大正七年六月二十二日 京城日報主催於朝鮮貴族會館）
四段 喜多文子
四子 鮎貝房之進

[illegible]



ますすれな二分匙若しくは三分匙と名づけて發の御として普通の方法です痰咳は成るべく止めに大きくして吸る事が必要それは鹽で咽喉を大きくし瘀幹を大にする一方法です終りに厚顔しい樣ですが一寸お願りを受けたいものですれ（厚部生）
▲軍司令部の方へ　御發布上候平前　刈暑呼の際に於ける服裝に就て注意書に は『總を失せざる程度』と云ふ事が記載され之候然るに其總を失せざる程度が相呼官に依つて相違致し甲の點呼官は洋服は詰襟にても御服に非ずとも差支なく運動に便利なれば歸つて袴服より宜敷眼にて不敬に當るから絶對に着用を許さず終役中との點呼官は制服に非ざるは御嘲咲ひし其程度は全然相違で候今朝鮮不在が初めてに候が朝鮮に於ける其程度を不揃にて御承知被成下度御願申上候（忠南花御軍人）

人參羊羮
京城本町壹・電話一四八〇八七〇〇番
ツ 津村兄弟商會

新式 圓筒形 魔法瓶
三合入 金一圓九十錢
四合入 金二圓三十錢
五合入 金三圓

△水筒形
三合入 金貳圓三十錢
四合入 金貳圓六十錢
送料 鮮內二十四錢 鮮外四十五錢
京城大和通
京城日報代理部
電話六〇〇番 振替京城三〇〇九番

李王職御用
模範 牛乳
ニウソ 石鹸洗粉
主製 肥塚正太
東京菱町四丁目
東亞牧場
電話二五番

片栗
朝鮮成興 宇佐美製粉所

於東京化學工業博覽會
金牌 受領
龍
最上醬油
釀造元
日本醬油株式會社

宮內省御用品の高價は既に社會に定評あり近來々此の品を模したる類似偽品多品１本の軸部には SWAN の英字刻印押捺せり
スワン萬年ペン
到る所の文具店にて御下命の際は必ず御販賣の上御用命は大阪市東區平野町一丁目スワン大阪出張所

いろは金言カード
消化と毒けし
仁丹
三浦井上兩博士御方劑
本舖 森下博藥房
は 花多ければ實少なし（センセルル）
に 忍耐は王なり（ショウ）

贈 答
今年の中元暑中の贈答も又々
七大醫學博士の賞讃と證明ある美味滋養の葡萄酒
赤玉ポートワインにお決め遊ばせ！！
眞に好適品
■夏の健康を保全する意味に於て實に好適品
■置けば置く程品の良くなる實に好適品
■体裁優美にして値段又格好の好適品
■御婦人お子達にも喜ばれる一般向の好贈答品
類似品あり 赤玉印に御注意

日本郵船仁川出帆
◎大連、天津行
相模丸 七月十九日
三河丸 七月 九日
高砂丸 七月 九日 正午出
仁川海岸町一丁目（電話十番） 堀 回漕部

阿波共同汽船仁川出帆
大連直行（關東都督府命令航路）
廿一共同丸 七月六日 後入港 七月七日 前出港
朝鮮鐵道連絡に付き荷客連絡取扱 大連にて南満洲鐵道輸送荷客に依り阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 河野商會（電話一七三番）
元山代理店 南大門 電話二四〇番
京城取次店 河村運送店

質 大塚質店
京城明治町二元照明 電話一八四九
戰慄すべき火災の防備に完全な倉庫あり
多額の融通も出來得る候

京城龍山等各地に偽物有御注意

りん病 ばい毒
藥店 諸君 「にせドラッグ」あり御注意
近來東京其他各地にトラックの譯者を名乘りてトラック商會と偽する奸商なり
京城南大門外 本舖大阪 ドラッグ商會 本部 京城鮮鉄 電話二五六七番
花柳病 門病の專門 電話 ドラッグ商會

釜山出帆廣告
◎元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三吉野丸 七月五日 後四時出
◎門司、宇品、神戸、大阪行 第三琴平丸 七月十五日 後四時出
◎佐須奈、厳原、博多行 大眞丸 七月四日 午後十時出
釜山本町 大池回漕部

大阪商船出帆
△神戸、大阪行（仁川出帆） 友雄丸 七月廿二日 後五時出
◎清津行（元山出帆） 平安丸 七月十三日 後十二時
◎釜山、門司、宇品、神戸、大阪行 宇品丸 七月七日 後九時出
◎上海、漢口、打狗行（大連出帆） 湖北丸 七月十二日 後六時出
◎基隆行 基隆丸 七月廿四日 後四時出
內地各港出帆は略す

御注意
歐洲行 毎年四回
南米行 毎年四回
北米行 毎月一回
豪洲行 毎月一回
南洋行 毎月一回
大阪商船株式會社仁川支店 電話二五〇番

尼崎汽船出帆
仁川出帆
第一大有丸 下關、大阪直行 月 日 後四時出
群山丸 下關、神戸、大阪行 月 日 後四時出
君が代丸
仁川海岸通三丁目 高杉回漕部 電話五九番

朝鮮郵船出帆
◎敦賀行 清津、元山、城津經由
平壤丸 七月十二日 清津發 七月十五日 元山發
◎浦汐行 大阪、門司、釜山、元山、城津、清津經由
越後丸 七月十五日 七月十七日 釜山發 元山發
◎雄基行 關門發釜山各港經由 ×印ハ仁川萬道各港ヘモ寄ス
×雄基丸 七月十四日 釜山發
京畿丸 七月十七日 七月十九日 元山發
◎元山雄基線 元山起點各港經由
鏡城丸 七月十一日 元山發
◎大阪行 神戸經由
山陽丸 七月十二日 七月十四日 元山發 釜山發
◎金剛山遊覽便 元山發長箭行 自六月至十月五ヶ月間
鏡城丸 七月十三日 元山發
◎釜山浦項線
江原丸 裏陽丸 毎日 釜山浦項發
◎濟州島行 釜山長承浦麗水巨文島經由
昌平丸 七月十六日 釜山發
◎濟州島行 東廻 西廻 八島莞子島經由
東廻 慶興丸 七月十六日 西廻 公州丸 七月十九日 木浦發
◎釜山麗水線
毎日 釜山麗水發
◎木浦麗水線
順天丸 七月十二日 木浦發（以下三日目毎木浦發）
◎多島海行
公州丸 七月十四日 木浦發
◎木浦行 仁川發各地經由
慶尚丸 七月十八日 仁川發
◎海州行 仁川發江華島喬桐島經由
新江丸 南陽丸 毎日一回 仁川海州發
◎鎭南浦行 仁川發各港經由
普州丸 七月十八日 仁川發
◎黄海島行 仁川發各港經由
江原丸 七月十二日 仁川發
朝鮮郵船株式會社 本社 京城南大門通 電話一九五二、二二二三
釜山支店 元山出張所 仁川代理店 木浦代理店 山野回漕部
京城南大門驛前 松原運送店 取扱店
其他各寄港地に荷客取扱店アリ

高級船員不足

海運前途の……め漸く之に對する
▲高等船員供給に不足
……汽船を目的とし……船を建造せんとする……小型汽船及び……必要ならんとの論を爲す者あり……其主張する所に依れば政府の……狀を下附する制度を採らば一度小……を期する能はず……

◎獨逸の戰費 千二百四十億

億麻克△同年十二月二日五十億麻克△同十五年三月十日百億麻克△同年八月……